

2 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用意向

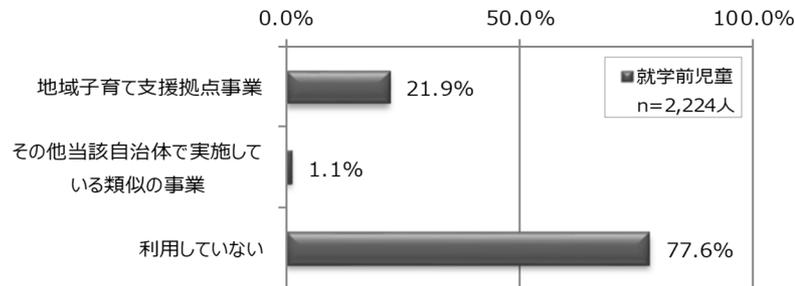
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用について

就学前児童の地域子育て支援拠点事業の利用状況をみると、21.9%の人が利用しています。「その他当該自治体で実施している類似の事業」の利用は1.1%となっています。

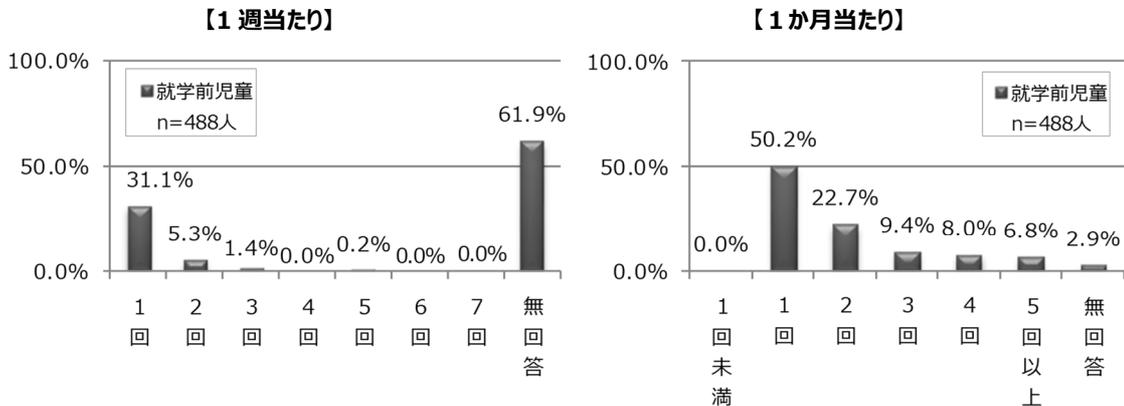
地域子育て支援拠点事業の1週当たりの利用回数は、「1回」(31.1%)が最も多く、次いで「2回」(5.3%)となっており、1か月当たりの利用回数は、「1回」(50.2%)、「2回」(22.7%)、「3回」(9.4%)の順となっています。

その他当該自治体で実施している類似の事業の1週当たりの利用回数は、「1回」(20.8%)、1か月当たりの利用回数は、「1回」(62.5%)が最も多くなっています。

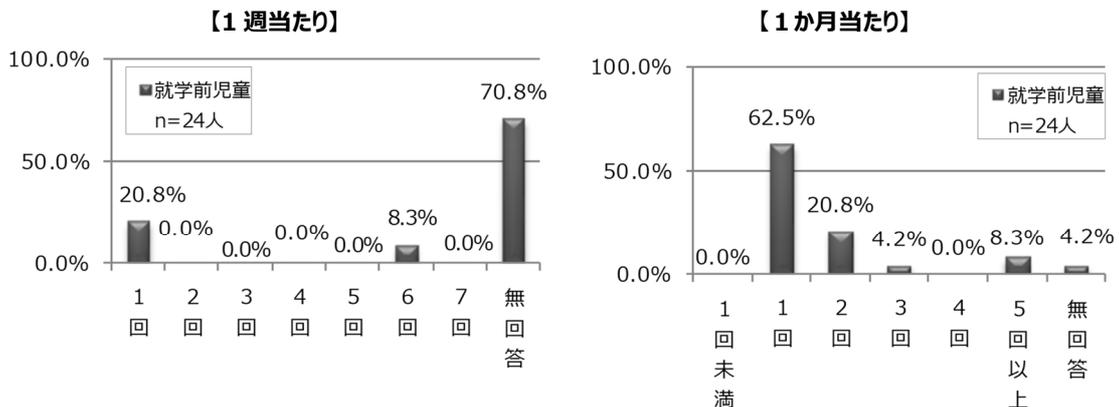
問 18 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問 18.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数



問 18.2 その他類似の事業の利用回数

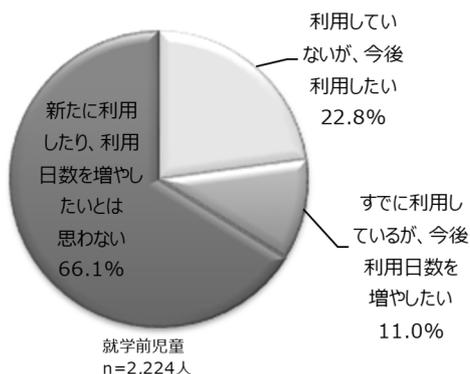


利用に関する希望をみると、「利用していないが、今後利用したい」（22.8%）、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」（11.0%）を合わせると33.8%の人が利用を希望しています。

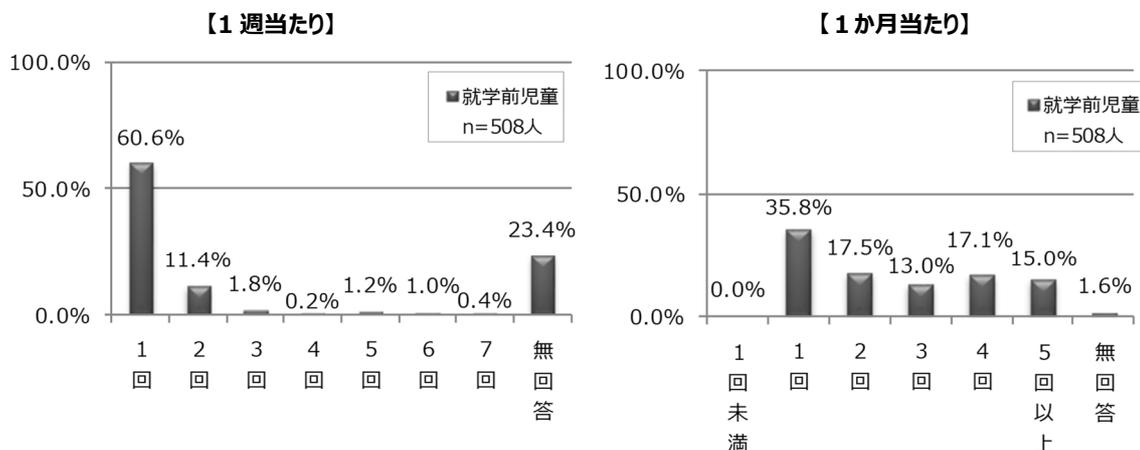
また、未利用者の1週当たりの利用希望回数は、「1回」（60.6%）、「1か月当たりの利用希望回数は、「1回」（35.8%）、「2回」（17.5%）、「4回」（17.1%）となっています。

利用者の増やしたい1週当たりの利用回数は、「1回」（35.1%）、「1か月当たりの利用回数は、「2回」（28.2%）、「1回」（23.3%）、「4回」（20.0%）となっています。

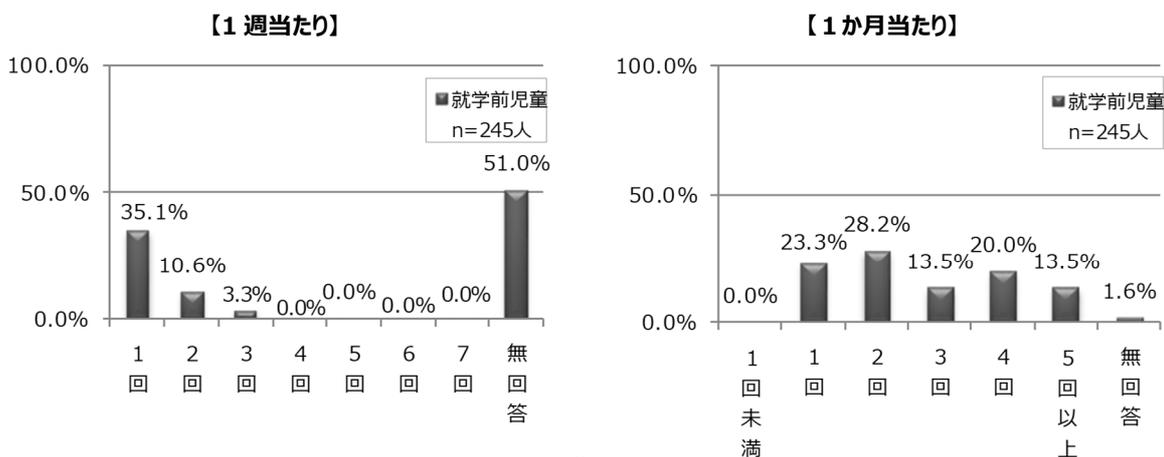
問 19 利用に関する希望



問 19.1 未利用者の利用希望回数



問 19.2 利用者の増やしたい回数

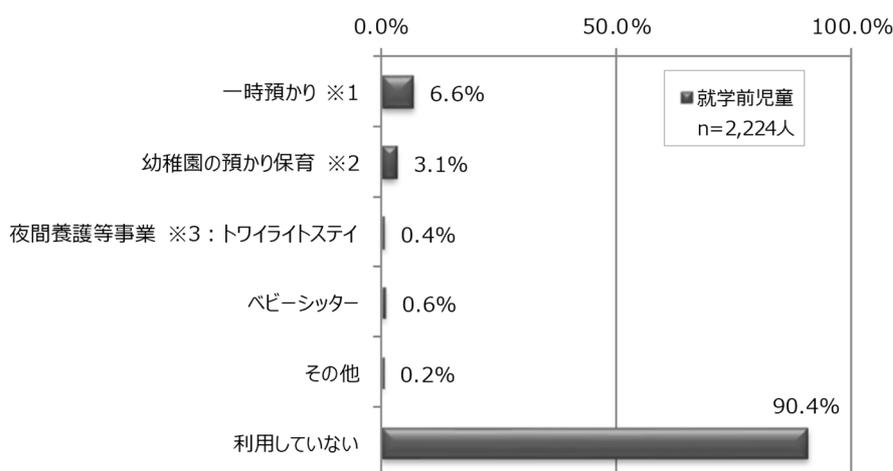


(2) 1. 就学前児童の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

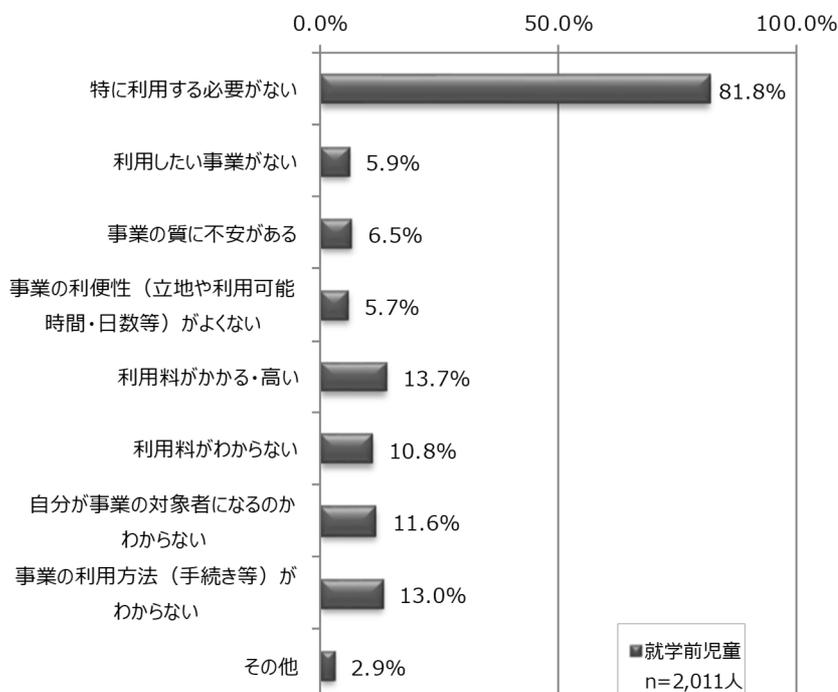
就学前児童の不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況を見ると、「一時預かり」(6.6%)、「幼稚園の預かり保育」(3.1%)と続き、「利用していない」が約9割を占めています。

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(81.8%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(13.7%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(13.0%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(11.6%)、「利用料がわからない」(10.8%)の順となっています。

問 26 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況



問 26-1 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等を利用していない理由



※1 一時預かり：私用など理由を問わずに保育所等で一時的に子どもを保育する事業
 ※2 幼稚園の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
 ※3 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

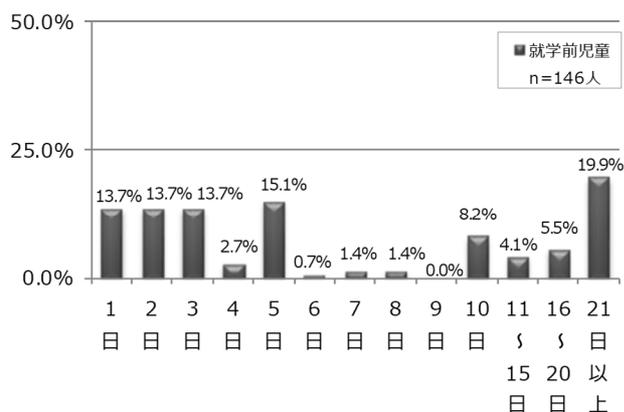
就学前児童の『一時預かり』に預けた年間日数は、「21 日以上」（19.9%）、「5 日」（15.1%）、「1 日」、「2 日」、「3 日」（ともに 13.7%）の順となっています。

『幼稚園の預かり保育』に預けた年間日数は、「21 日以上」（23.5%）、「1 日」、「5 日」、「10 日」（ともに 11.8%）、「2 日」、「11～15 日」（ともに 10.3%）の順となっています。

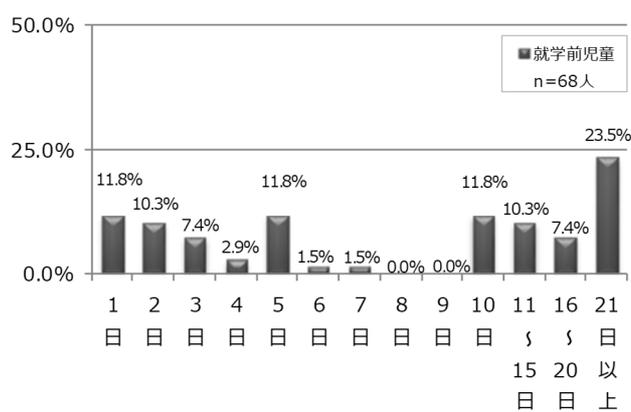
『夜間養護等事業：トワイライトステイ』に預けた年間日数は、「1 日」、「3 日」（ともに 25.0%）、「2 日」、「5 日」、「7 日」、「21 日以上」（ともに 12.5%）の順となっています。

『ベビーシッター』に預けた年間日数は、「21 日以上」（30.8%）、「1 日」、「5 日」、「11～15 日」（ともに 15.4%）の順となっています。

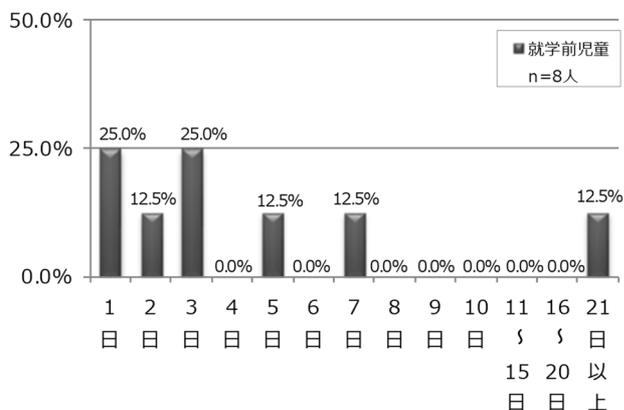
問 26.1 一時預かりに預けた日数（年間）



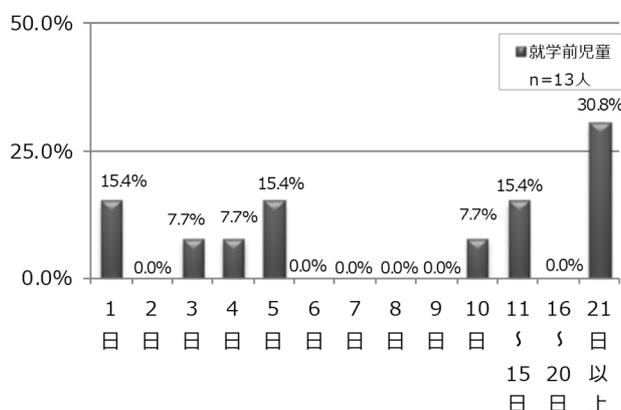
問 26.2 幼稚園の預かり保育（年間）



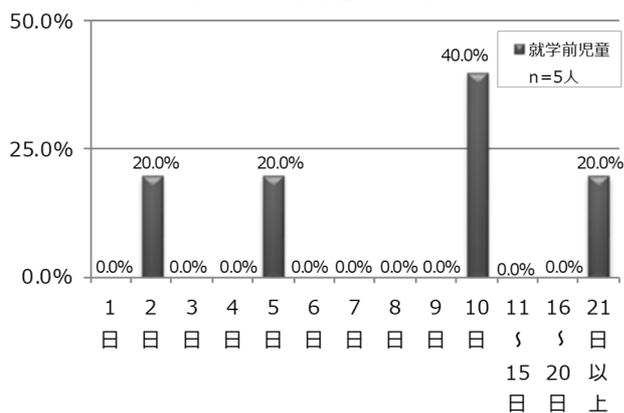
問 26.3 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



問 26.4 ベビーシッター（年間）



問 26.5 その他（年間）

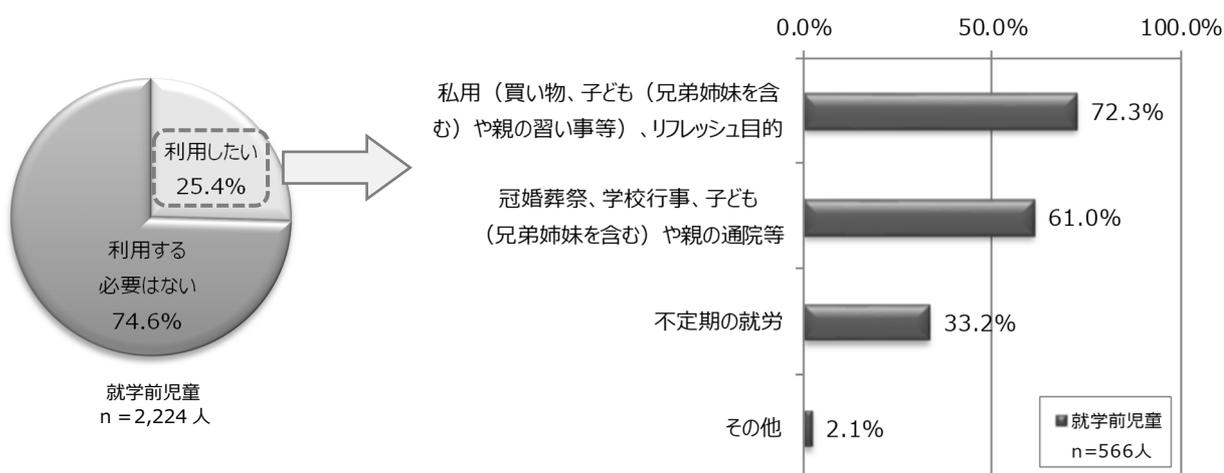


就学前児童の親の私用、通院、不定期就労などの目的による不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望をみると、25.4%の人が利用を希望しています。

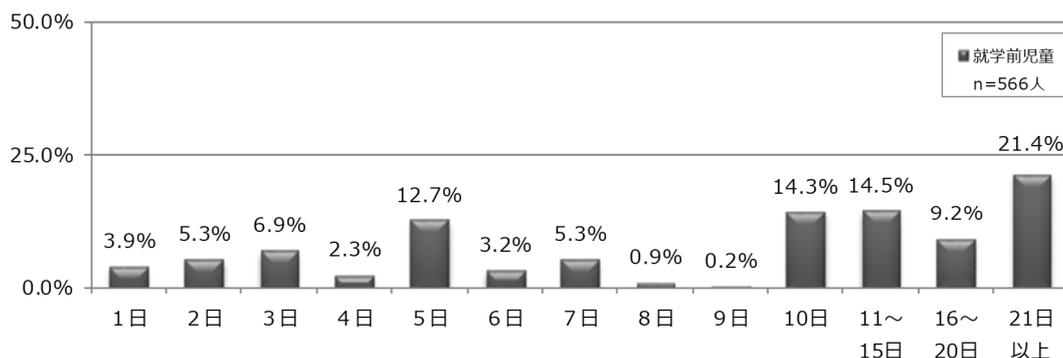
その利用目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（72.3%）が最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（61.0%）、「不定期の就労」（33.2%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21 日以上」（21.4%）、「11～15 日」（14.5%）、「10 日」（14.3%）、「5 日」（12.7%）の順となっています。

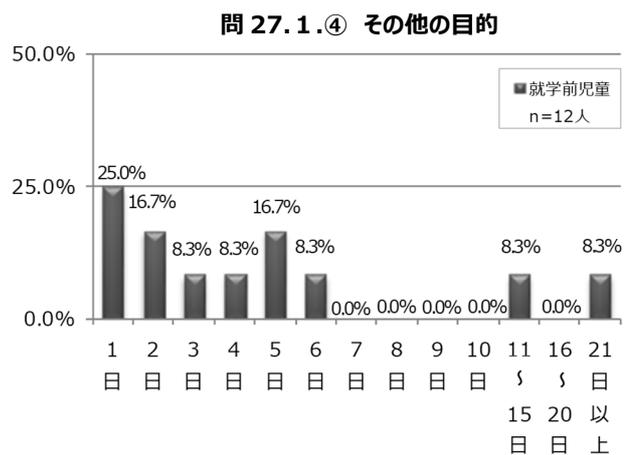
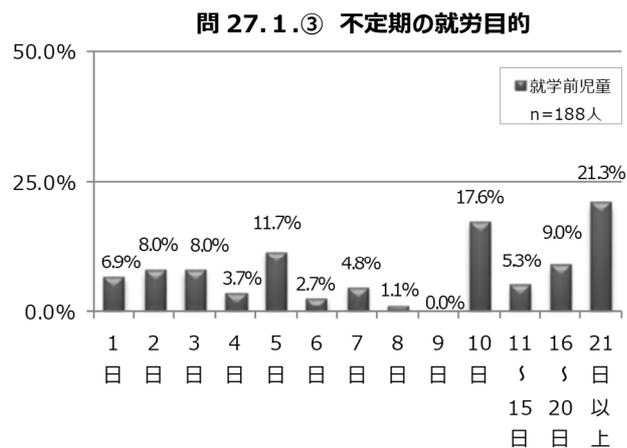
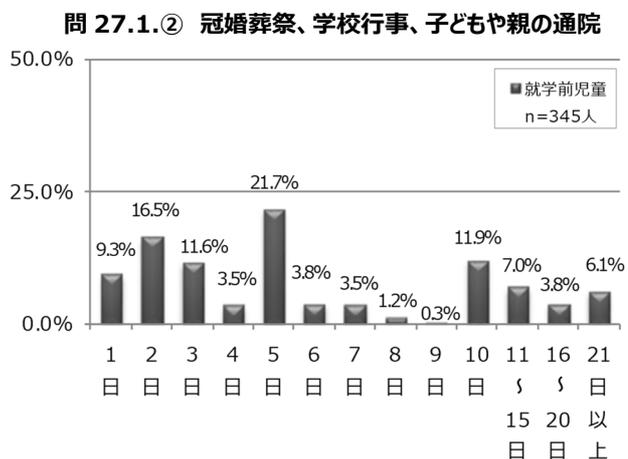
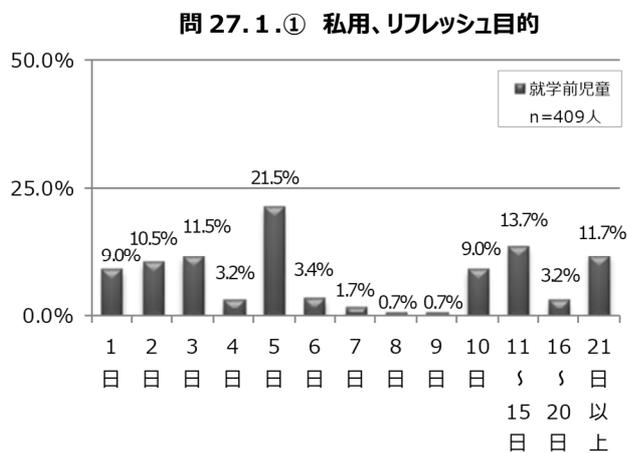
問 27 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用希望とその目的



問 27.1 利用希望年間合計日数

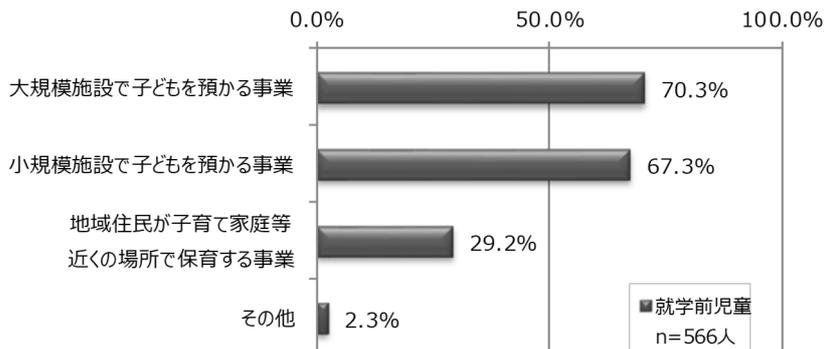


就学前児童の利用目的別の希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』は「5日」(21.5%)、「11～15日」(13.7%)、「21日以上」(11.7%)、「3日」(11.5%)の順となっています。『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院』は「5日」(21.7%)、「2日」(16.5%)、「10日」(11.9%)、「3日」(11.6%)の順、『不定期の就労目的』は「21日以上」(21.3%)、「10日」(17.6%)、「5日」(11.7%)の順となっています。



就学前児童の私用や不定期の就労目的等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「大規模施設で子どもを預かる事業」(70.3%)、「小規模施設で子どもを預かる事業」(67.3%)、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」(29.2%)の順となっています。

問 27-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

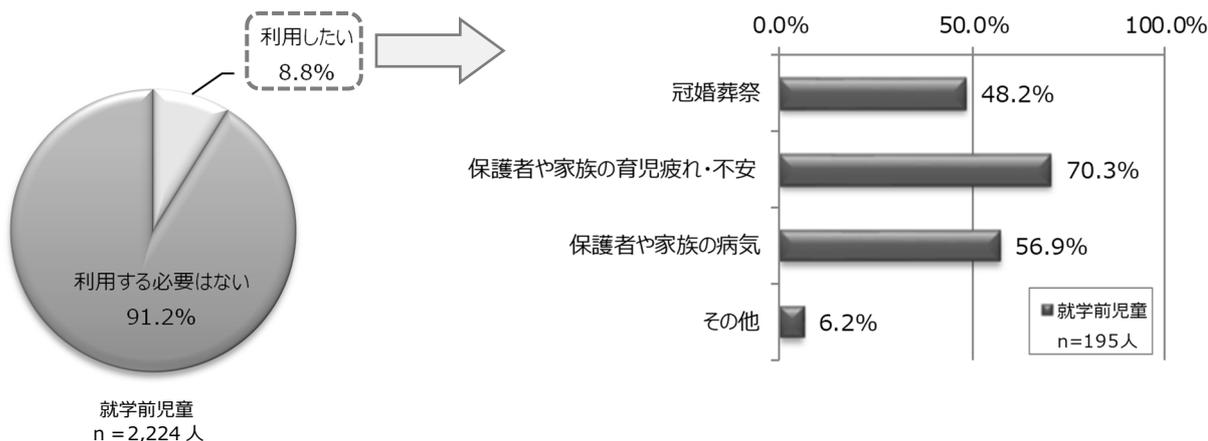


（新規） 就学前児童の保護者の用事による短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望をみると、8.8%の人が利用を希望しています。

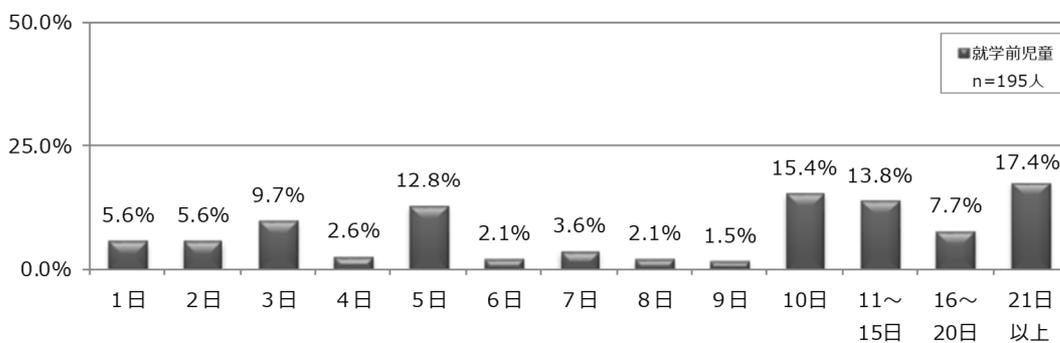
その利用目的は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（70.3%）が最も多く、次いで「保護者や家族の病気」（56.9%）、「冠婚葬祭」（48.2%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21 日以上」（17.4%）、「10 日」（15.4%）、「11～15 日」（13.8%）、「5 日」（12.8%）の順となっています。

問 28 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望とその目的

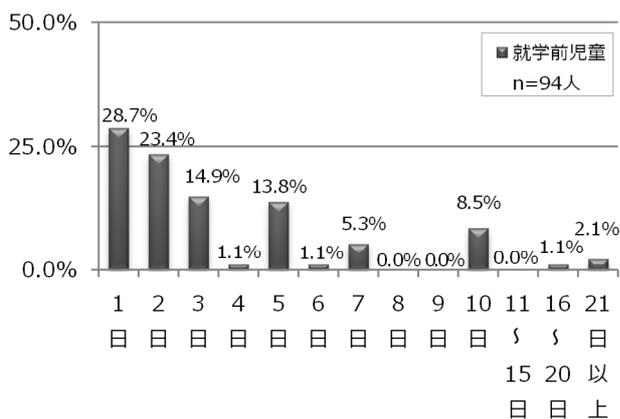


問 28.1 利用希望年間合計日数

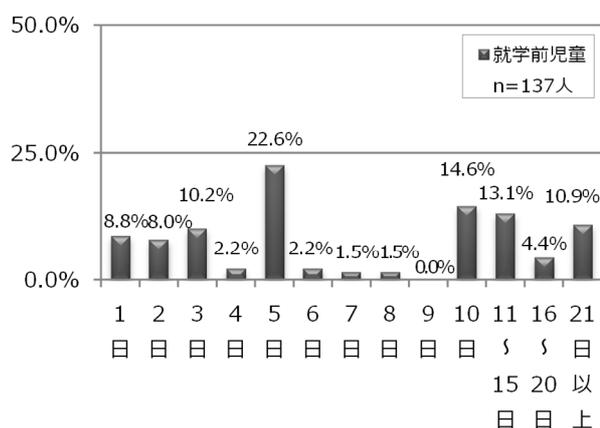


就学前児童の利用目的別の希望日数をみると、『冠婚葬祭』は「1日」(28.7%)、「2日」(23.4%)、「3日」(14.9%)の順となっています。『保護者や家族の育児疲れ・不安』は「5日」(22.6%)、「10日」(14.6%)、「11~15日」(13.1%)の順、『保護者や家族の病気』は「5日」(20.7%)、「3日」(17.1%)、「10日」(15.3%)の順となっています。

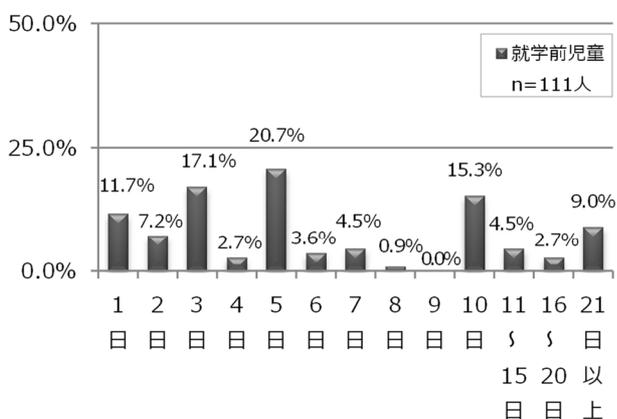
問 28.1.① 冠婚葬祭



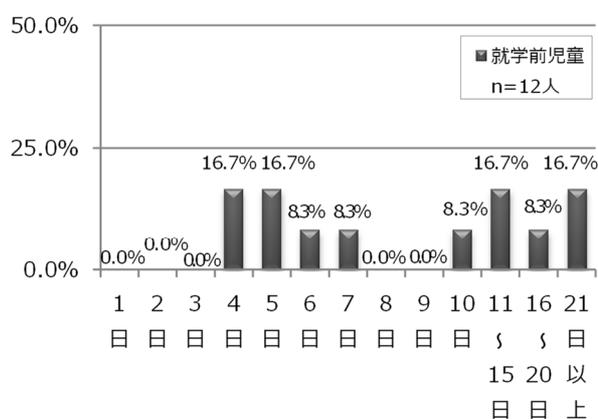
問 28.1.② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問 28.1.③ 保護者や家族の病気



問 28.1.④ その他の目的

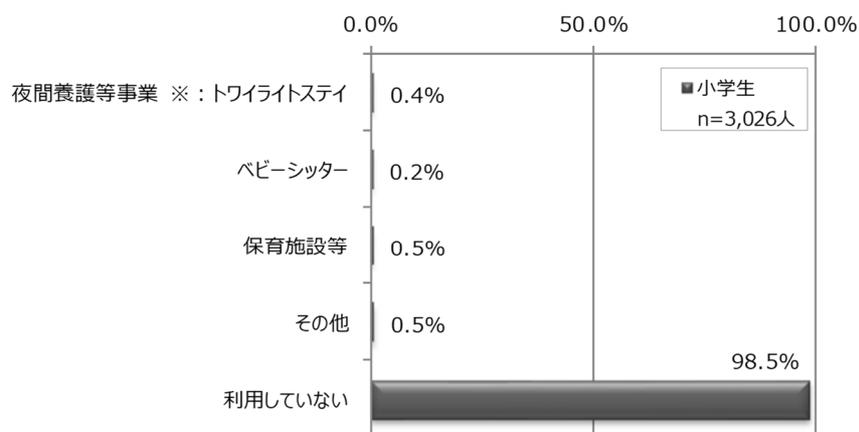


2. 小学生の不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用について

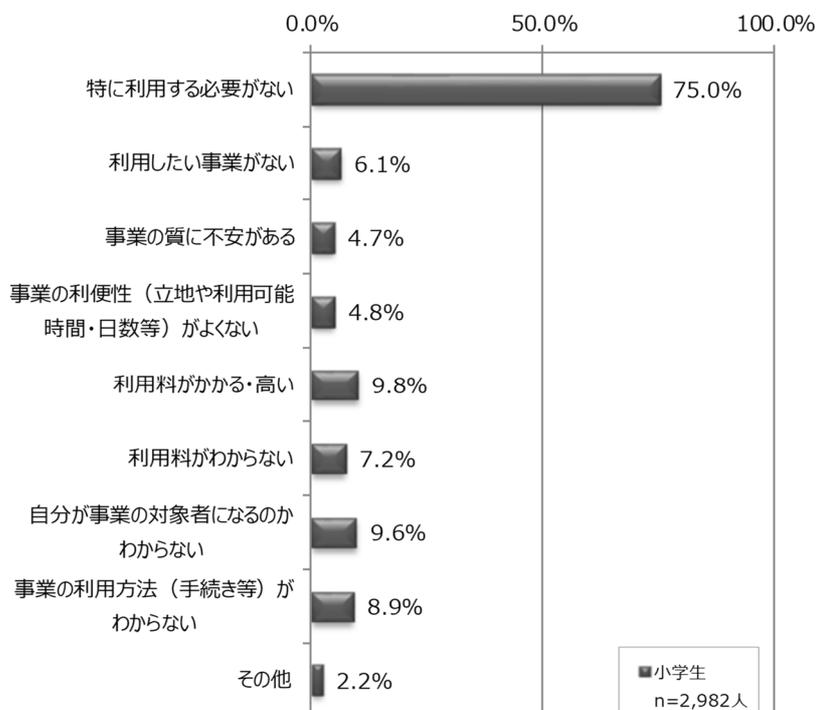
小学生の不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用状況をみると、「保育施設等」(0.5%)、「夜間養護等事業：トワイライトステイ」(0.4%)、「ベビーシッター」(0.2%)と続き、「利用していない」が98.5%を占めています。

不定期の保育や宿泊を伴う施設を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」(75.0%)が最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」(9.8%)、「自分が事業の対象者になるのかわからない」(9.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(8.9%)、「利用料がわからない」(7.2%)の順となっています。

問 16 不定期の保育や宿泊を伴う施設の利用状況



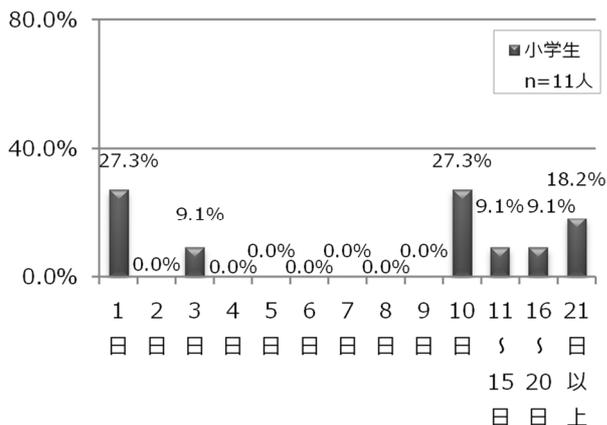
問 16-1 不定期の保育や宿泊を伴う施設を利用していない理由



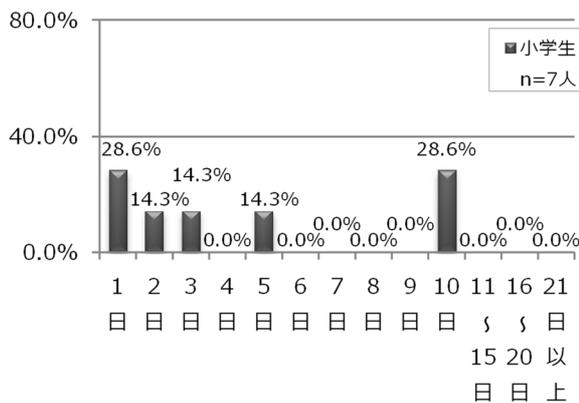
※ 夜間養護等事業：児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

小学生の『夜間養護等事業：トワイライトステイ』に預けた年間日数は、「1日」、「10日」（ともに27.3%）、『ベビーシッター』に預けた年間日数は、「1日」、「10日」（ともに28.6%）、『保育施設等』に預けた年間日数は「10日」、「21日以上」（ともに35.7%）となっています。

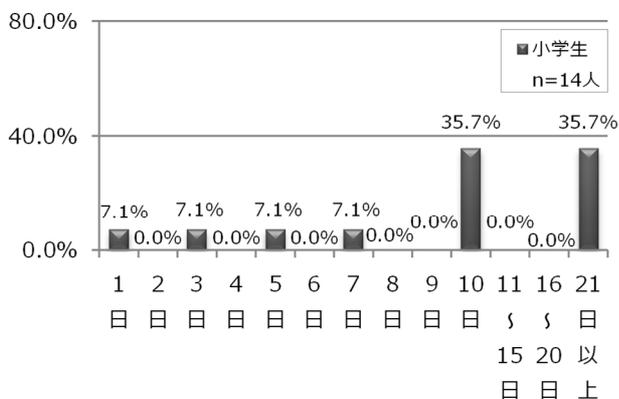
問 16.1 夜間養護等事業：トワイライトステイ（年間）



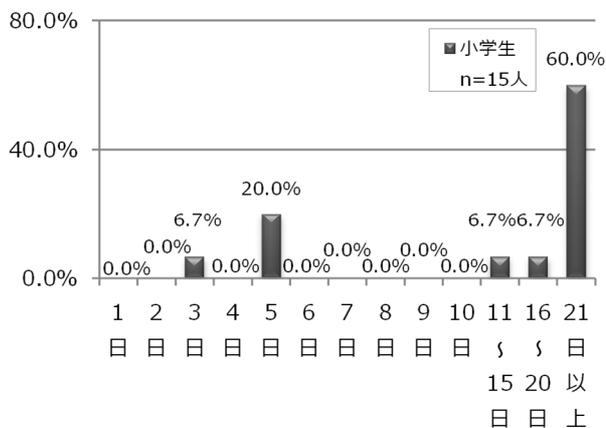
問 16.2 ベビーシッター（年間）



問 16.3 保育施設等（年間）



問 16.4 その他（年間）

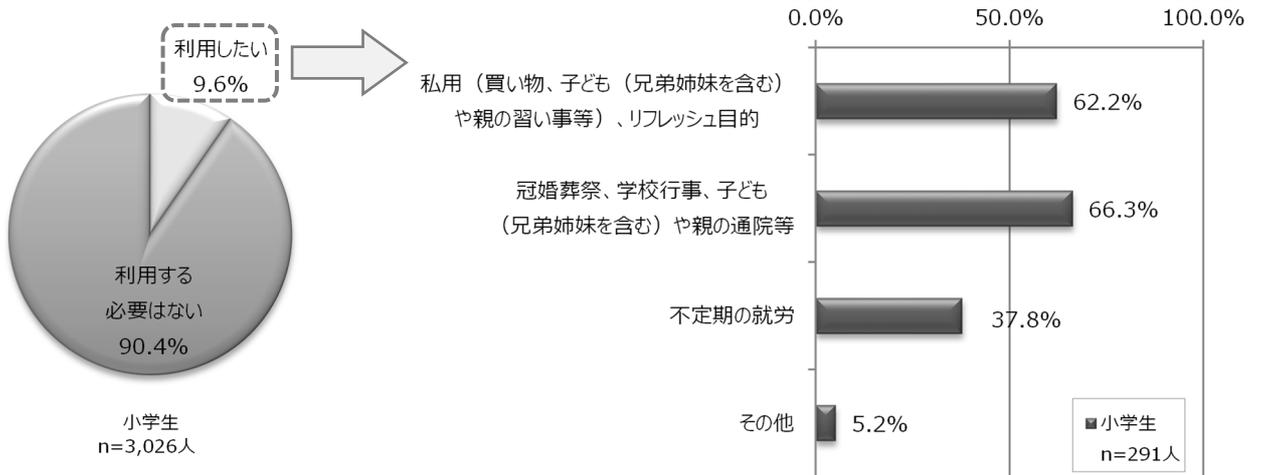


小学生の親の私用、通院、不定期就労などの目的による不特定の保育や宿泊を伴う施設の利用希望をみると、9.6%の人が利用を希望しています。

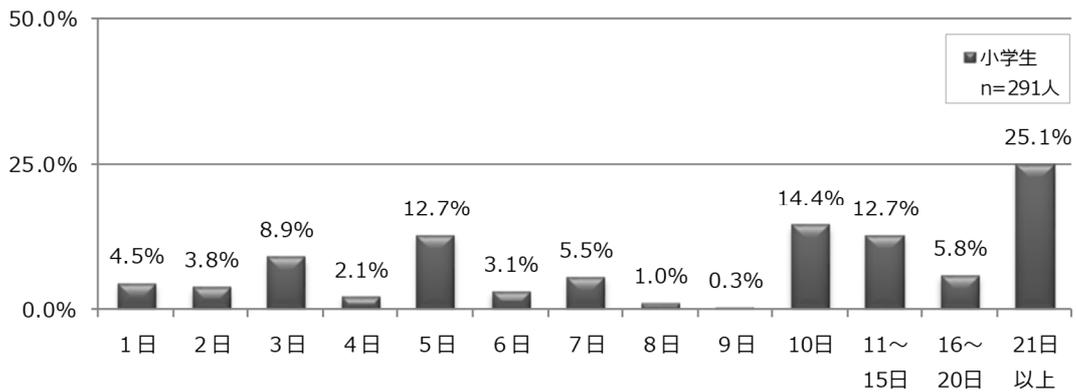
その利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（66.3%）が最も多く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（62.2%）、「不特定の就労」（37.8%）の順となっています。

また、年間の利用希望合計日数は、「21日以上」（25.1%）、「10日」（14.4%）、「5日」、「11～15日」（ともに12.7%）の順となっています。

問 17 不特定の保育や宿泊を伴う施設の利用希望とその目的

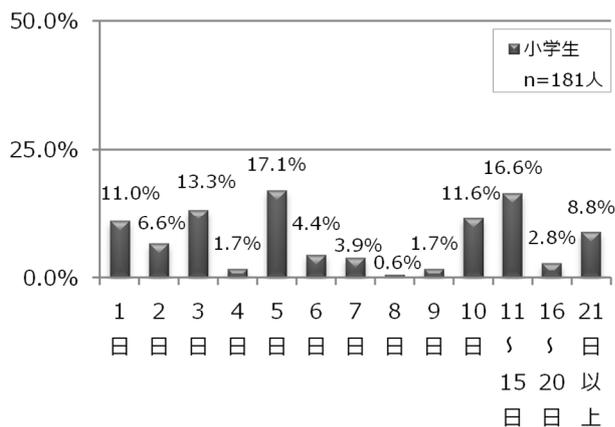


問 17.1 利用希望年間合計日数

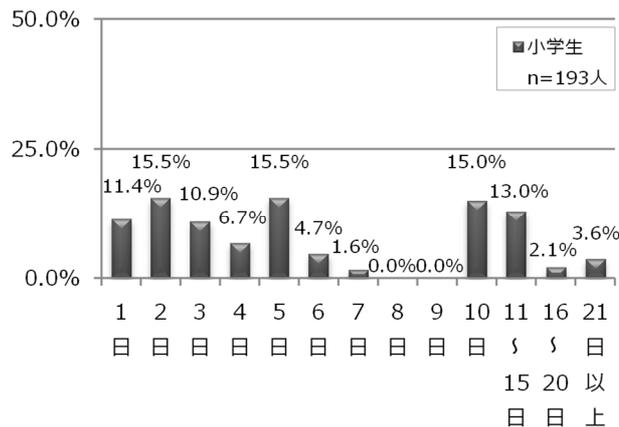


小学生の利用目的別の希望日数をみると、『私用、リフレッシュ目的』は「5日」(17.1%)、「11~15日」(16.6%)、「3日」(13.3%)の順となっています。『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院』は「2日」、「5日」(ともに15.5%)、「10日」(15.0%)、「11~15日」(13.0%)の順、『不特定の就労目的』は「21日以上」(22.7%)、「3日」(12.7%)、「10日」(11.8%)の順となっています。

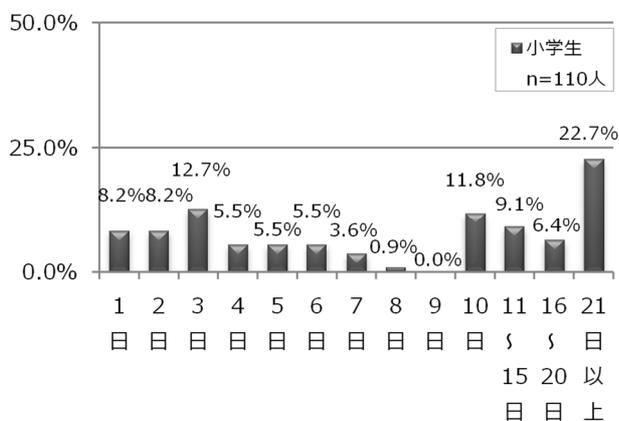
問 17.1.① 私用、リフレッシュ目的



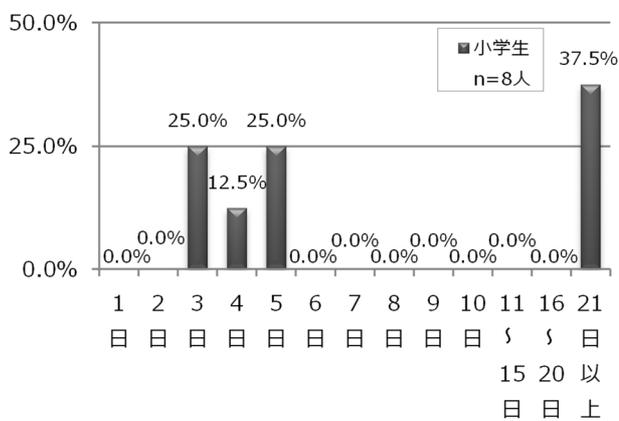
問 17.1.② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院



問 17.1.③ 不特定の就労目的

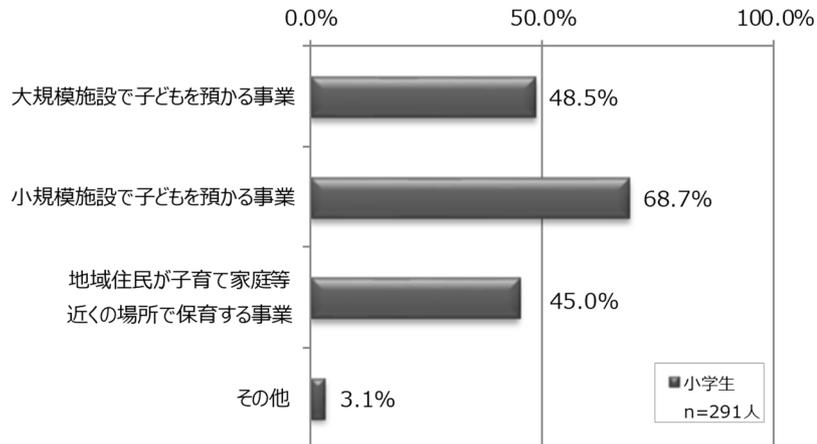


問 17.1.④ その他の目的



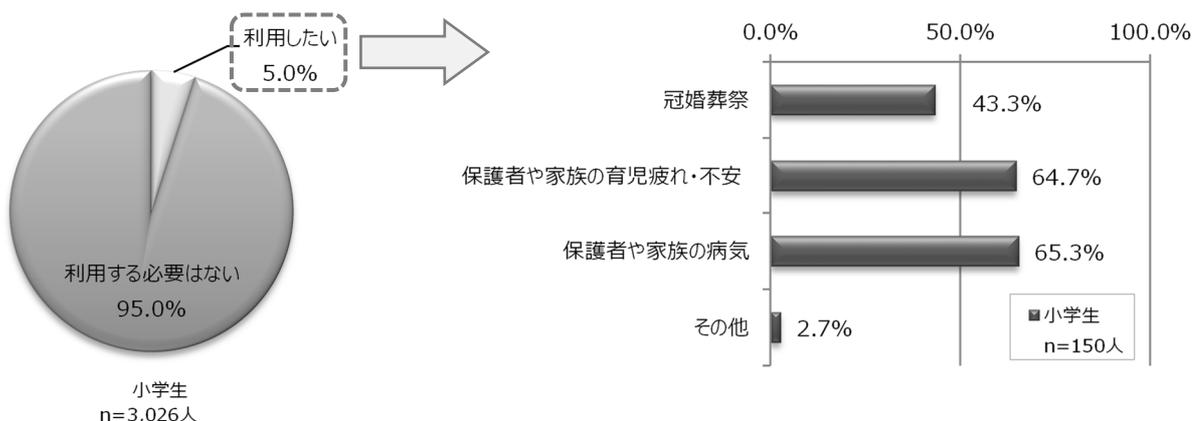
小学生の私用や不特定の就労目的等で子どもを預ける場合の望ましい事業形態をみると、「小規模施設で子どもを預かる事業」（68.7%）、「大規模施設で子どもを預かる事業」（48.5%）、「地域住民が子育て家庭等近くの場所で保育する事業」（45.0%）の順となっています。

問 17-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態

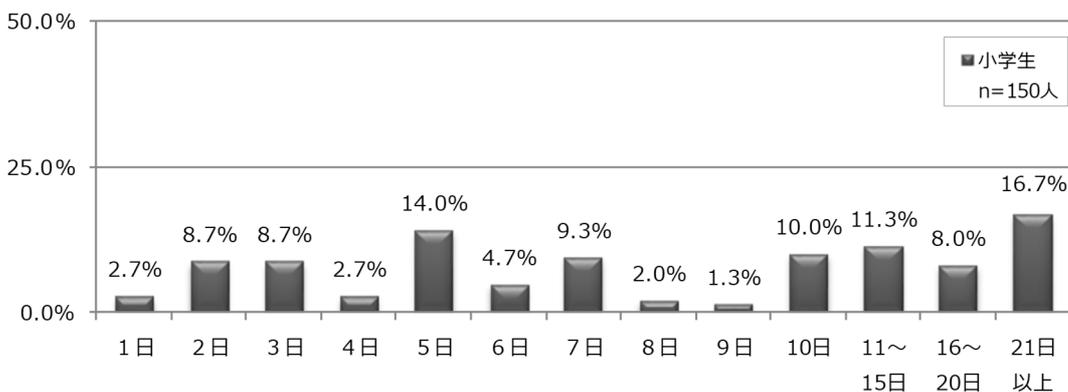


(新規) 小学生の保護者の用事による短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望をみると、5.0%の人が利用を希望しています。
 その利用目的は、「保護者や家族の病気」（65.3%）、「保護者や家族の育児疲れ・不安」（64.7%）が多く、次いで「冠婚葬祭」（43.3%）の順となっています。
 また、年間の利用希望合計日数は、「21日以上」（16.7%）、「5日」（14.0%）、「11～15日」（11.3%）、「10日」（10.0%）の順となっています。

問 18 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望とその目的

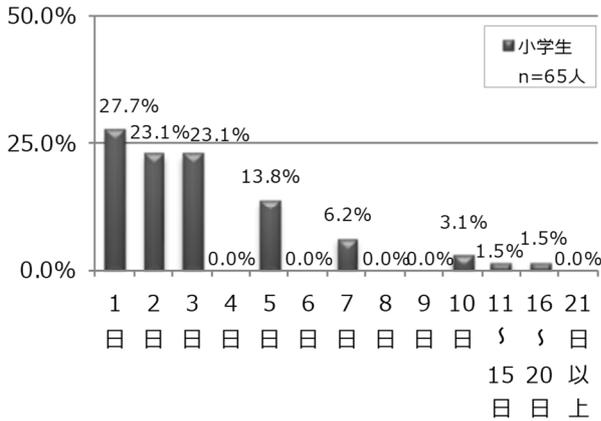


問 18.1 利用希望年間合計日数

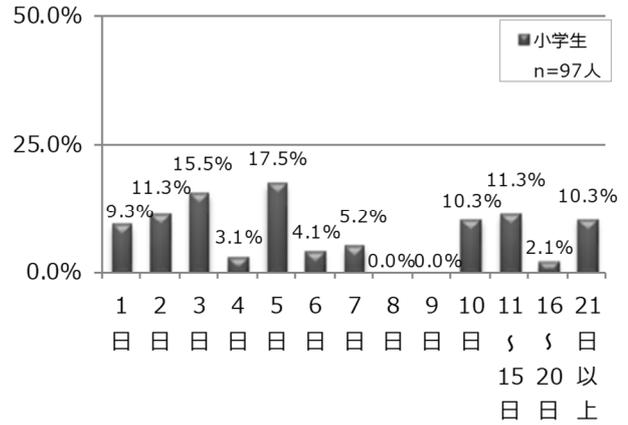


小学生の利用目的別の希望日数をみると、『冠婚葬祭』は「1日」(27.7%)、「2日」、「3日」(ともに23.1%)、「5日」(13.8%)の順となっています。『保護者や家族の育児疲れ・不安』は「5日」(17.5%)、「3日」(15.5%)、「2日」、「11～15日」(ともに11.3%)の順、『保護者や家族の病気』は「3日」(18.4%)、「2日」(16.3%)、「5日」(14.3%)の順となっています。

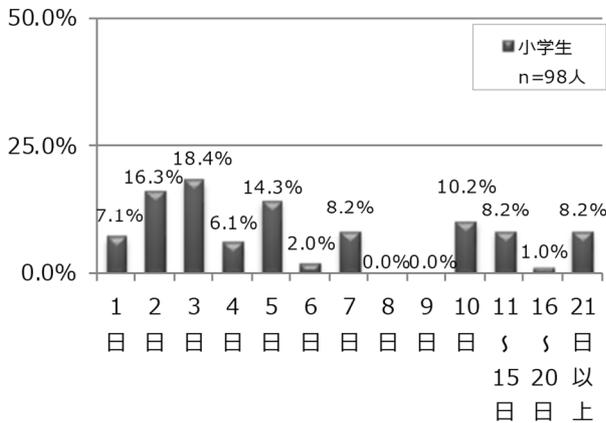
問 18.1.① 冠婚葬祭



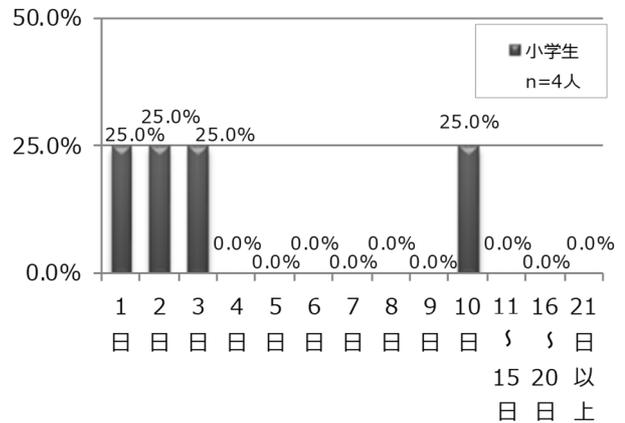
問 18.1.② 保護者や家族の育児疲れ・不安



問 18.1.③ 保護者や家族の病気



問 18.1.④ その他の目的



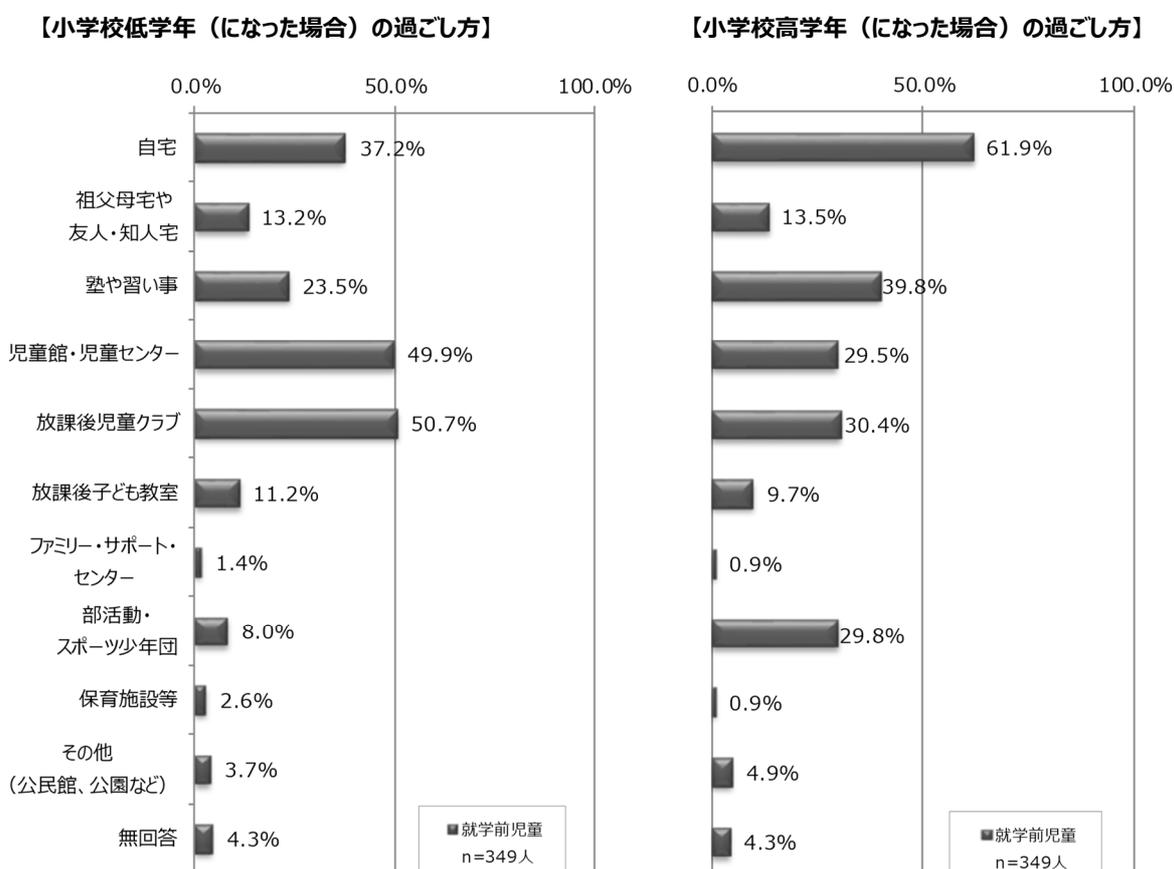
3 放課後の過ごし方について

(1) 1. 就学前児童の平日の放課後の過ごし方について

就学前児童の就学後の希望する放課後の過ごし方をみると、小学校低学年になった場合の過ごし方の希望は、「放課後児童クラブ」(50.7%)、「児童館・児童センター」(49.9%)が多く、次いで「自宅」(37.2%)、「塾や習い事」(23.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.2%)の順となっています。

小学校高学年になった場合の過ごし方の希望は、「自宅」(61.9%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(39.8%)、「放課後児童クラブ」(30.4%)、「部活動・スポーツ少年団」(29.8%)、「児童館・児童センター」(29.5%)となっており、高学年期になると「自宅」や「塾や習い事」、「部活動・スポーツ少年団」への希望が増えています。

問 29・問 30 放課後の過ごし方の希望



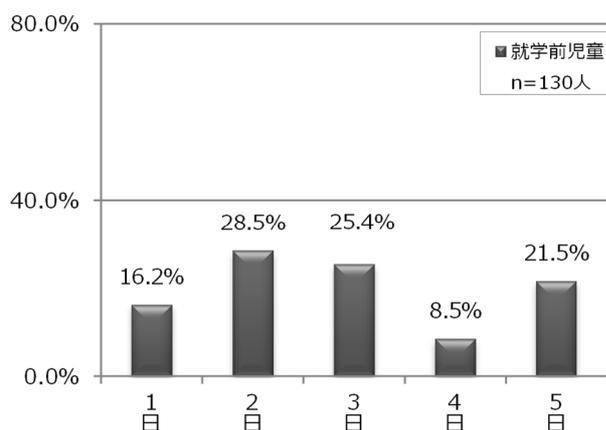
※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい1週（または1か月）当たりの希望日数をみると、低学年期では、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多く、半数以上となっています。『放課後子ども教室』は「5日」（23.1%）、「2日」（20.5%）、「16～20日」（17.9%）の順となっています。

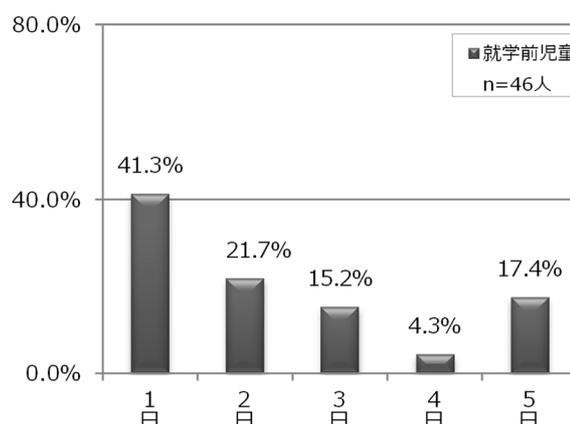
高学年期では、低学年期と同様、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』は「5日」が最も多く、さらに『自宅』も「5日」が最も多くなっています。

① 放課後の過ごし方【小学校低学年の時期】

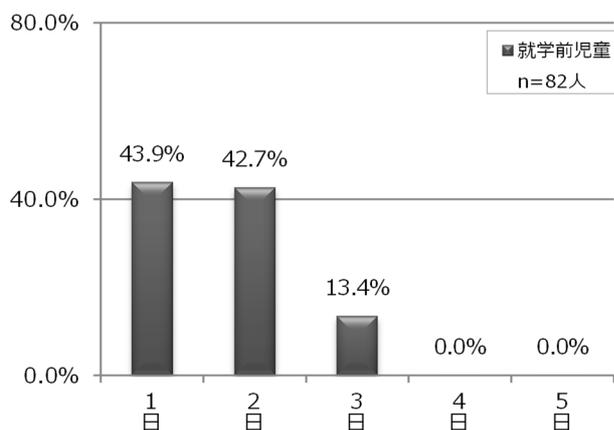
問 29.1 自宅の希望日数（1週当たり）



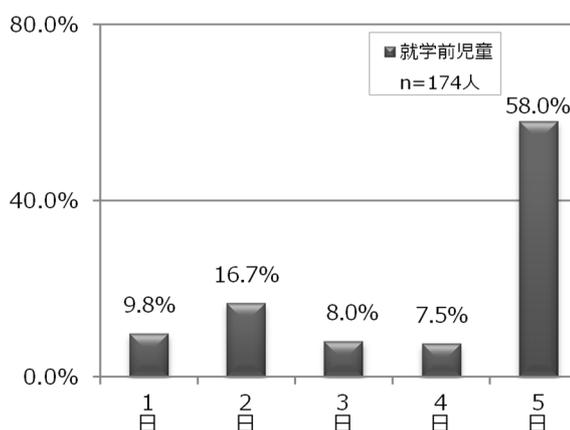
問 29.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



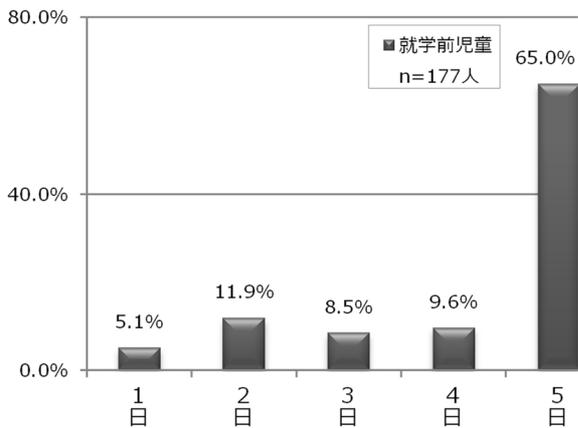
問 29.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



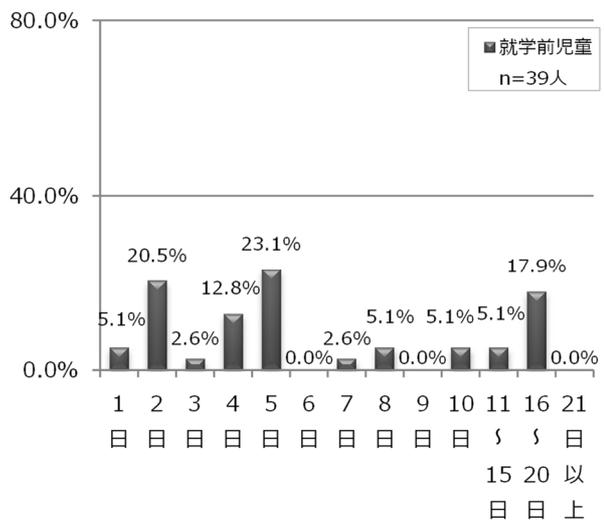
問 29.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



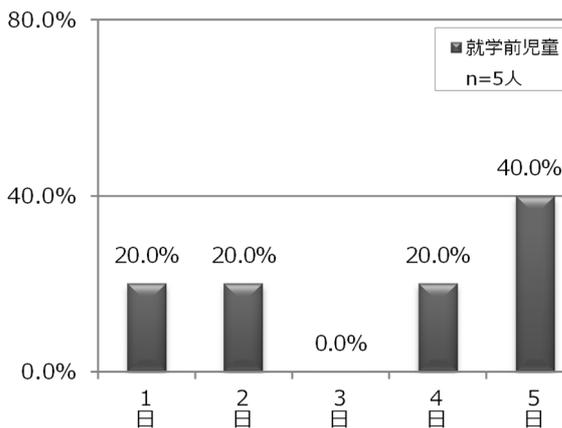
問 29.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



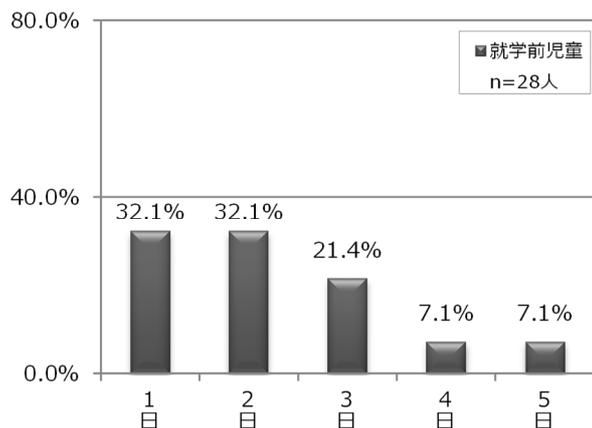
問 29.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）



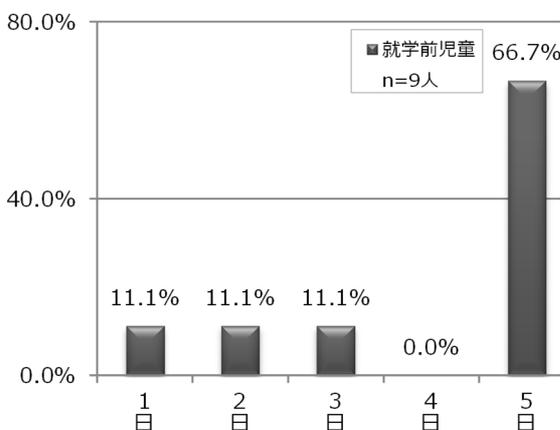
問 29.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



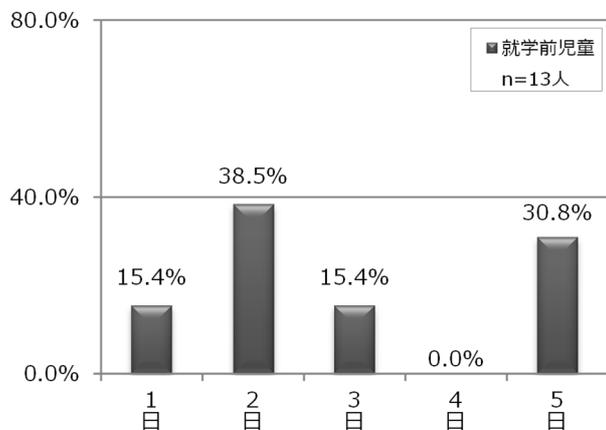
問 29.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 29.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）

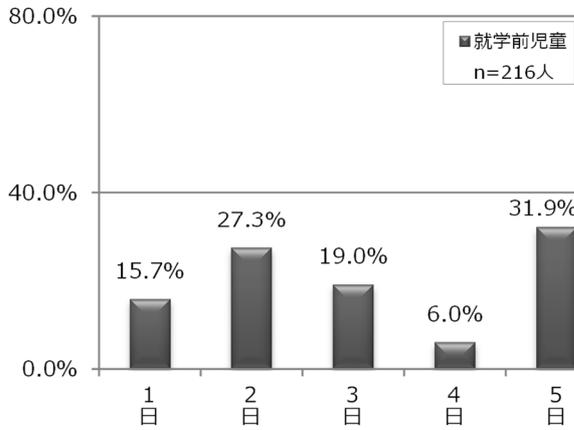


問 29.10 その他の希望日数（1週当たり）

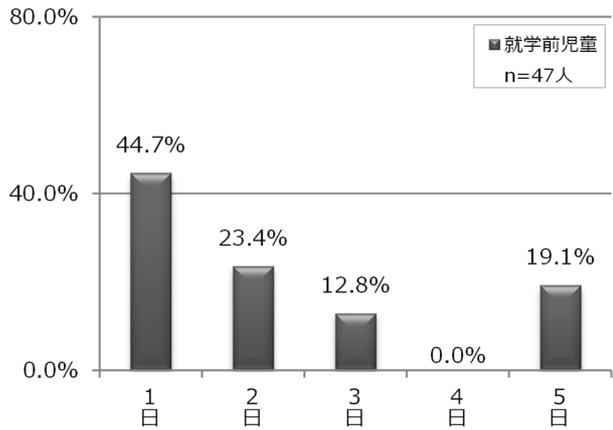


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

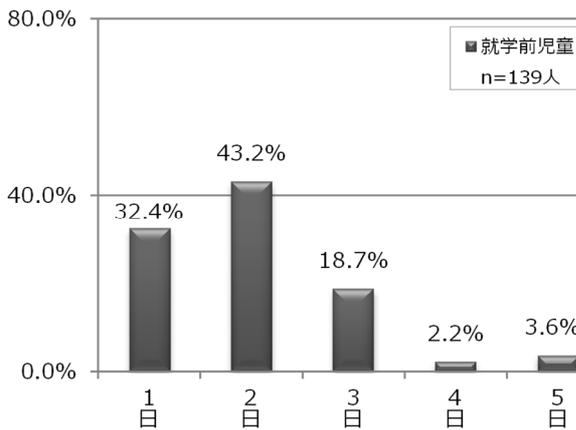
問 30.1 自宅の希望日数（1週当たり）



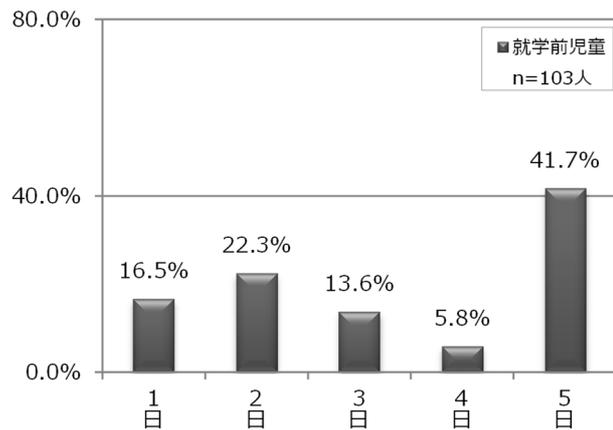
問 30.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



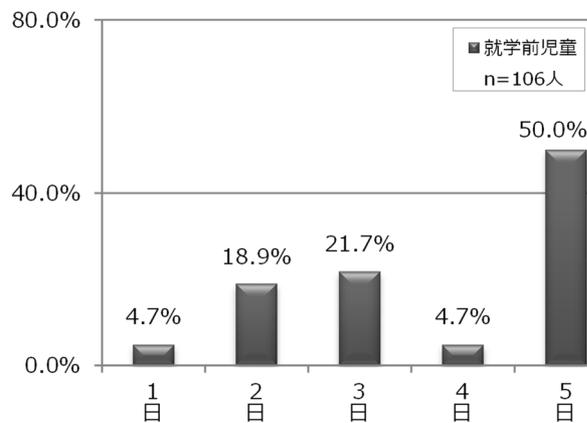
問 30.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



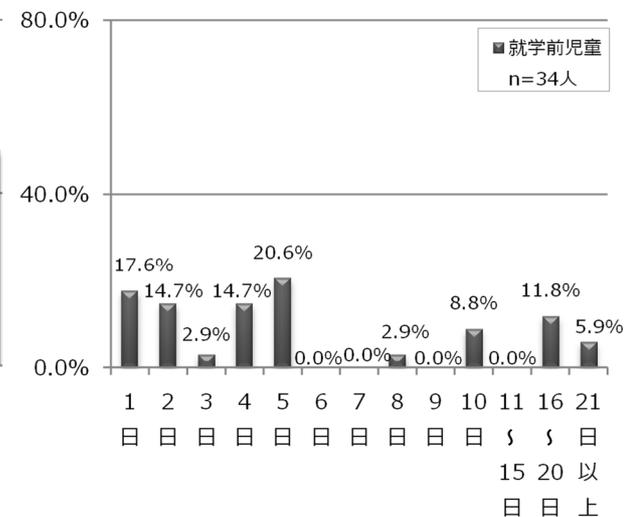
問 30.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



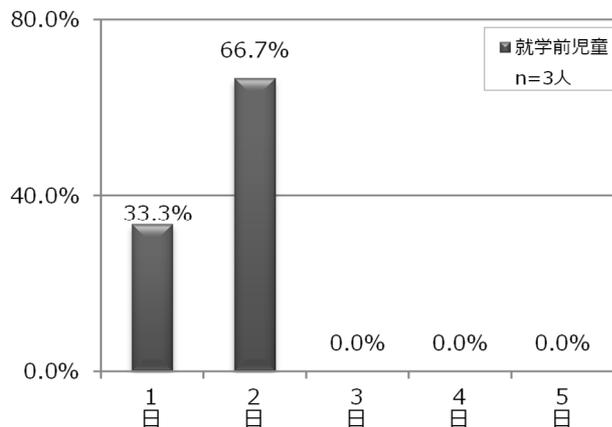
問 30.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）



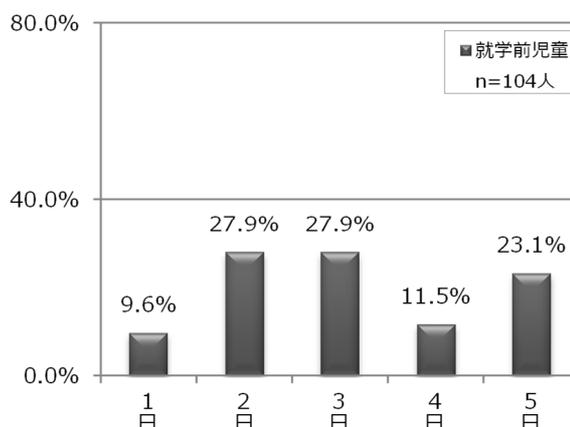
問 30.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）



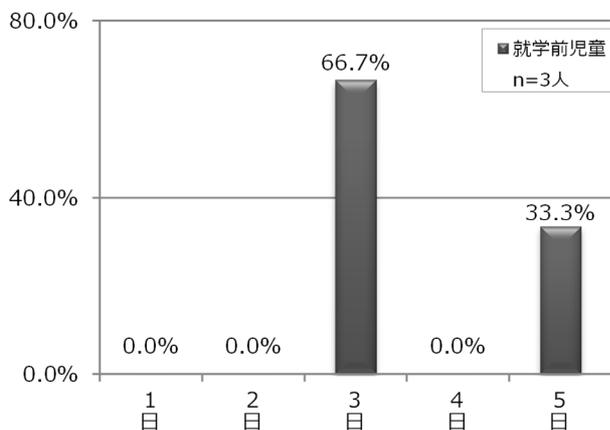
問 30.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



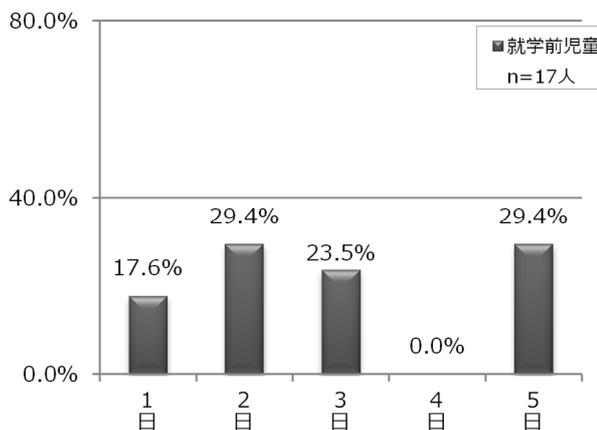
問 30.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 30.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）



問 30.10 その他の希望日数（1週当たり）

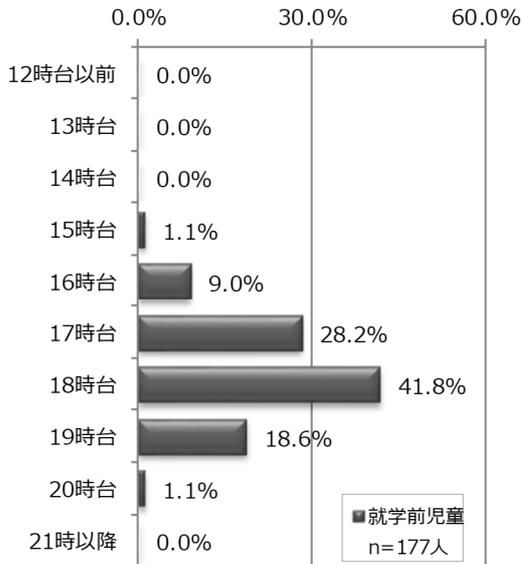


就学前児童の就学後に、放課後を過ごさせたい場所として「放課後児童クラブ」を選んだ保護者が、下校時から何時台まで利用させたいと思っているか、希望する時間をみると、低学年期については「18 時台」（41.8%）が最も多く、次いで「17 時台」（28.2%）、「19 時台」（18.6%）となっており、高学年期については「18 時台」（41.5%）が最も多く、次いで「17 時台」（31.1%）、「19 時台」（22.6%）と、ほぼ同じ割合となっています。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

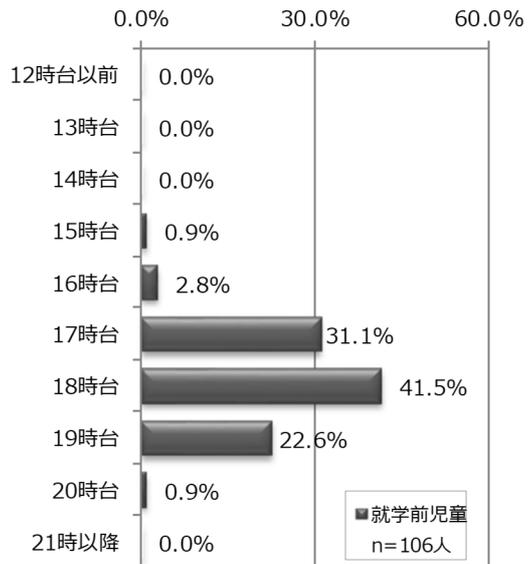
【小学校低学年の時期】

問 29.5.1 下校時からの利用希望時間



【小学校高学年の時期】

問 30.5.1 下校時からの利用希望時間

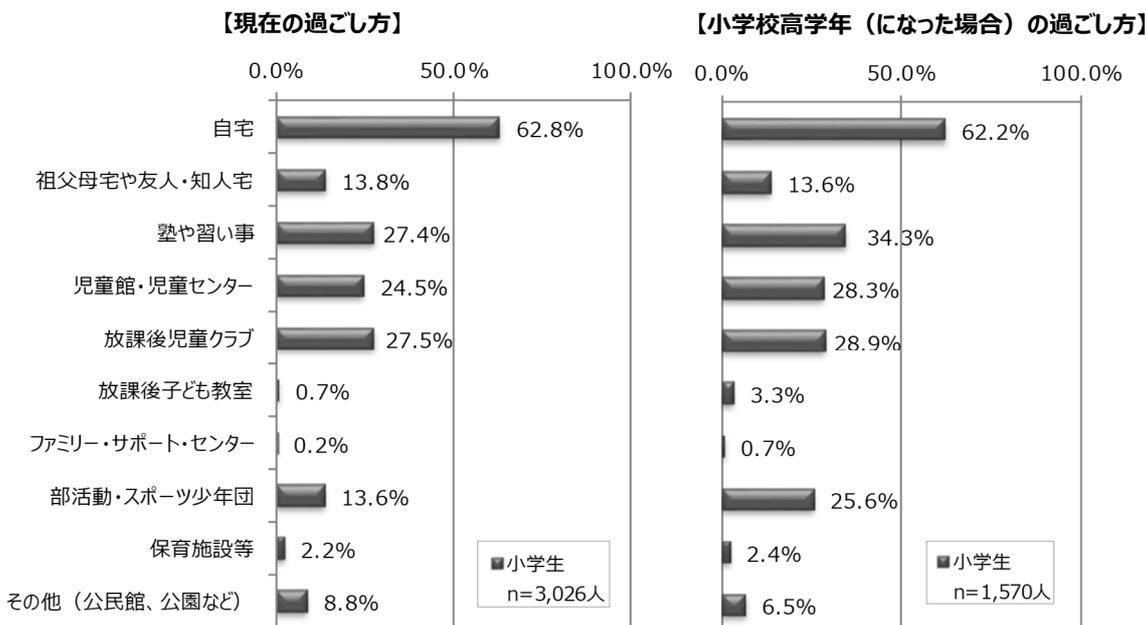


2. 小学生の平日の放課後の過ごし方について

小学生の放課後の過ごし方をみると、現在の過ごし方では、「自宅」(62.8%)が最も多く、次いで「放課後児童クラブ」(27.5%)、「塾や習い事」(27.4%)、「児童館・児童センター」(24.5%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(13.8%)、「部活動・スポーツ少年団」(13.6%)の順となっています。

小学校高学年になった場合の過ごし方の希望は、現在と同様、「自宅」(62.2%)が最も多く、次いで「塾や習い事」(34.3%)、「放課後児童クラブ」(28.9%)、「児童館・児童センター」(28.3%)、「部活動・スポーツ少年団」(25.6%)の順となっており、高学年期になると「部活動・スポーツ少年団」(12.0ポイント増)や「塾や習い事」(6.9ポイント増)の希望が多くなっています。

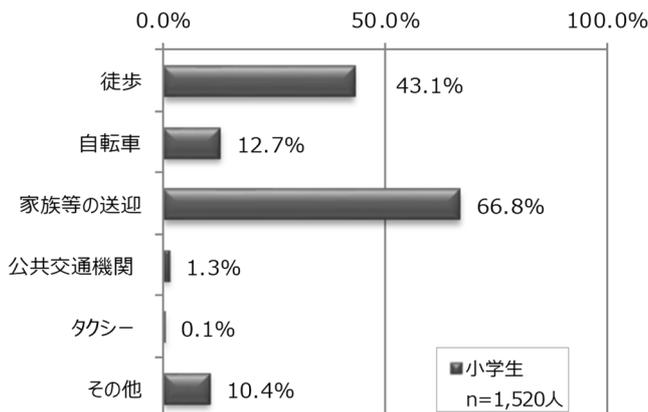
問 19・問 20 放課後の過ごし方の現状と希望



※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生を意味しています。

(新規) 現在『祖父母宅や友人・知人宅』、『塾や習い事』、『ファミリー・サポート・センター』、『部活動・スポーツ少年団』、『保育施設等』、『その他』のいずれかで放課後を過ごしている小学生の、それらの場所までの移動手段をみると、「家族等の送迎」(66.8%)が最も多く、次いで「徒歩」(43.1%)、「自転車」(12.7%)の順となっています。

問 19-1 塾や習い事などへの移動手段

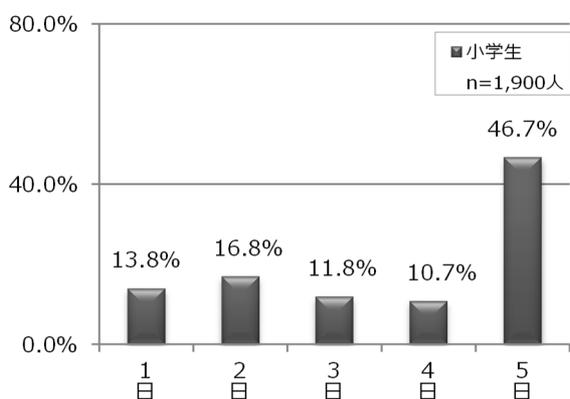


小学生の放課後過ごしている1週（または1か月）当たりの日数をみると、現在では、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多く、半数以上となっています。『放課後子ども教室』は「1日」（42.9%）が最も多く、次いで「16～20日」（19.0%）、「4日」、「5日」、「21日以上」（ともに9.5%）の順となっています。

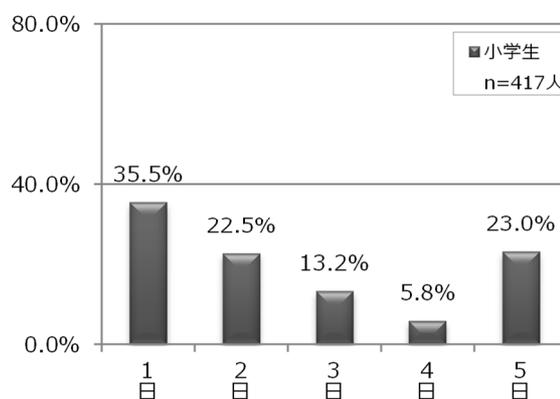
高学年期では、現在と同様、『児童館・児童センター』、『放課後児童クラブ』、『保育施設等』は「5日」が最も多くなっています。また、高学年期になると『部活動・スポーツ少年団』の1週当たりの日数は減少し、『塾や習い事』の日数が「1日」から「2日」に増える傾向がみられます。

① 放課後の過ごし方【現在】

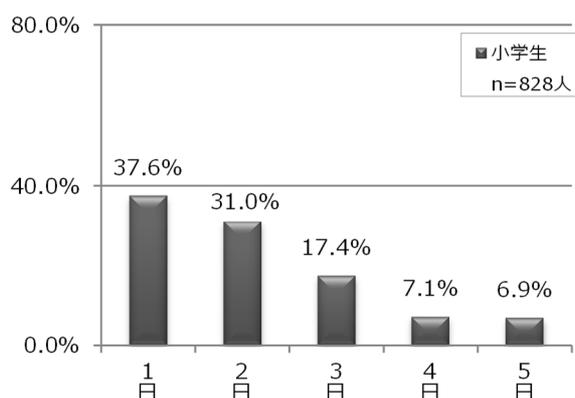
問 19.1 自宅の日数（1週当たり）



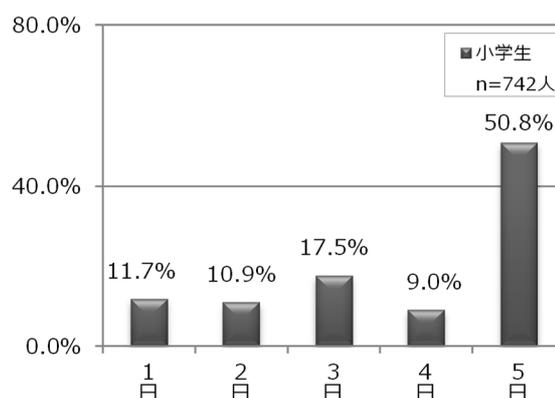
問 19.2 祖父母宅や友人・知人宅の日数（1週当たり）



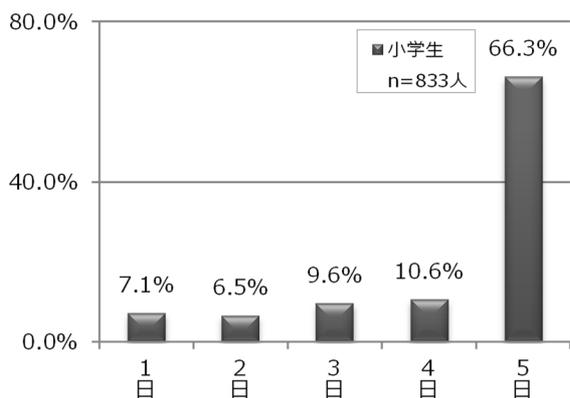
問 19.3 塾や習い事の日数（1週当たり）



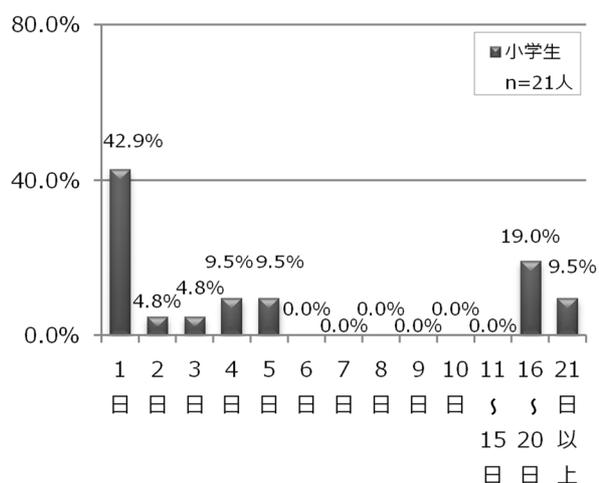
問 19.4 児童館・児童センターの日数（1週当たり）



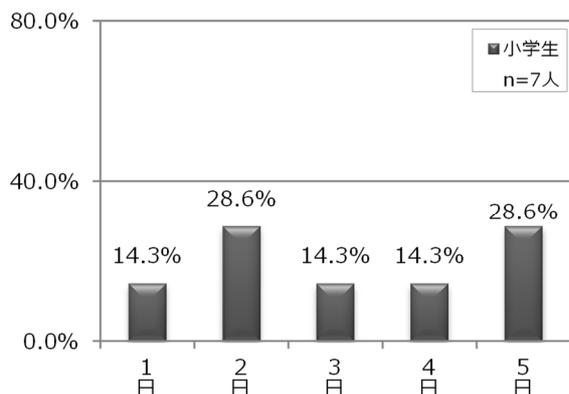
問 19.5 放課後児童クラブの回数（1週当たり）



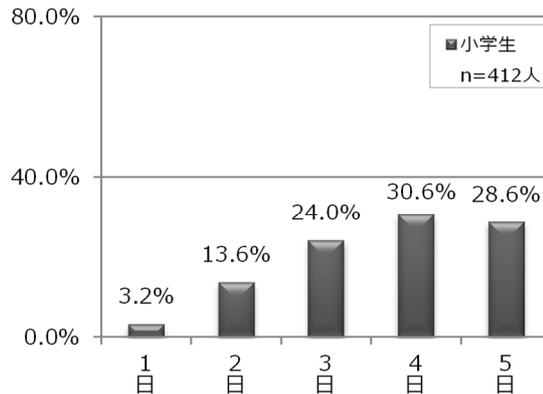
問 19.6 放課後子ども教室の回数（1か月当たり）



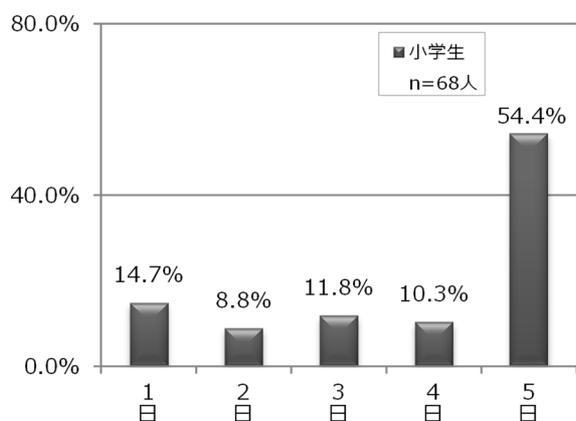
問 19.7 ファミリー・サポート・センターの回数（1週当たり）



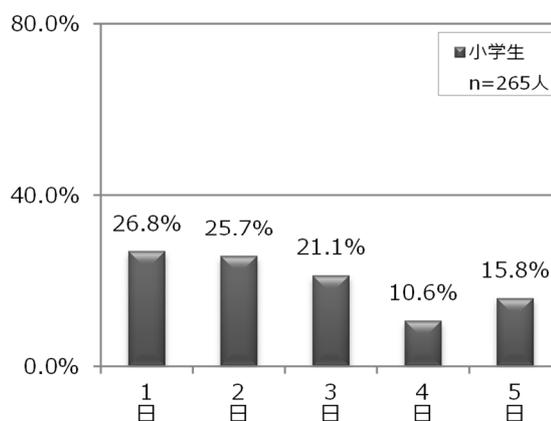
問 19.8 部活動・スポーツ少年団の回数（1週当たり）



問 19.9 保育施設等の回数（1週当たり）

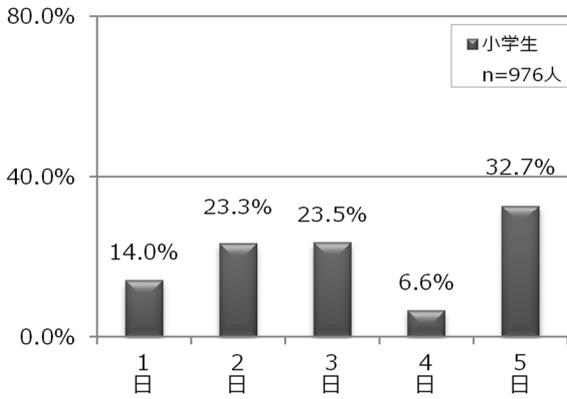


問 19.10 その他の回数（1週当たり）

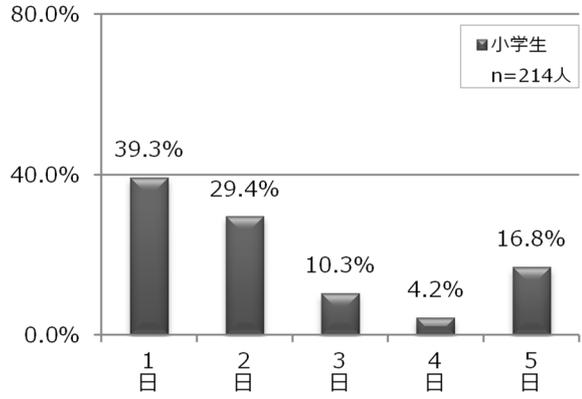


② 放課後の過ごし方【小学校高学年の時期】

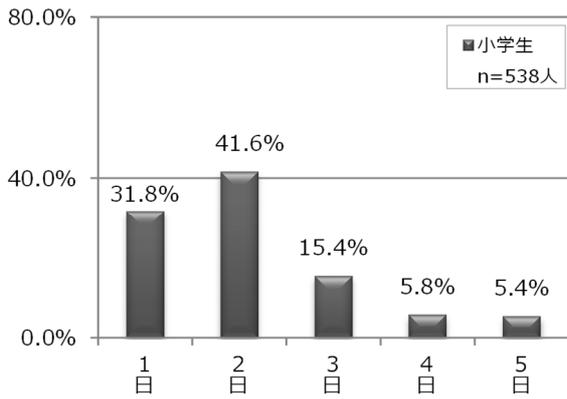
問 20.1 自宅の希望日数（1週当たり）



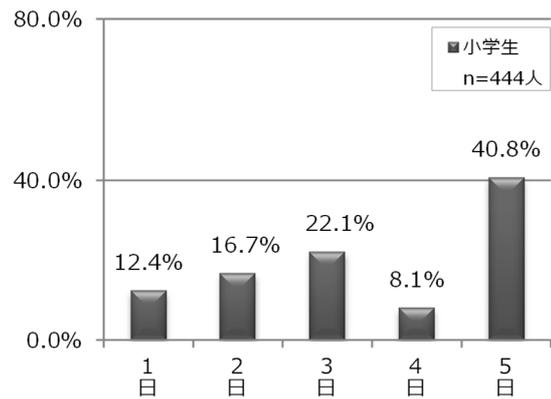
問 20.2 祖父母宅や友人・知人宅の希望日数（1週当たり）



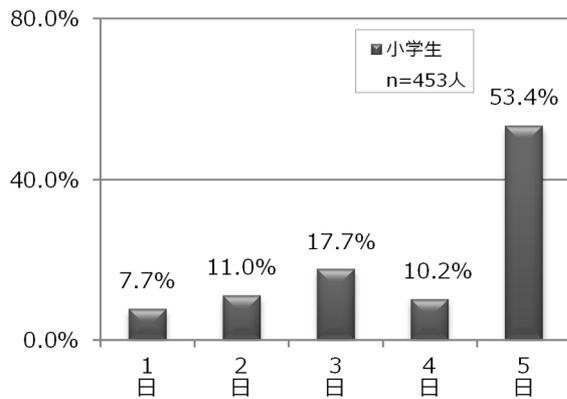
問 20.3 塾や習い事の希望日数（1週当たり）



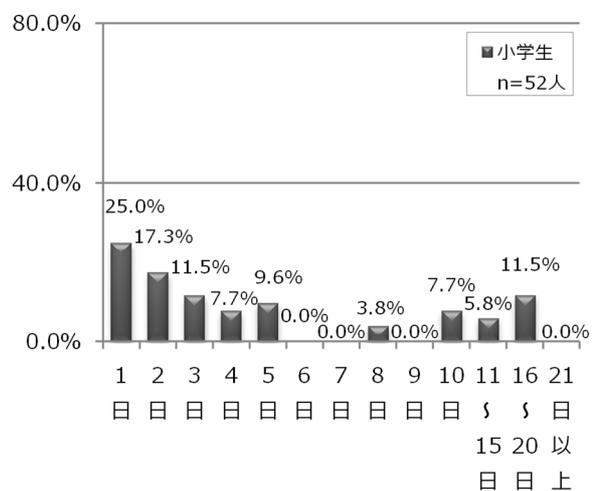
問 20.4 児童館・児童センターの希望日数（1週当たり）



問 20.5 放課後児童クラブの希望日数（1週当たり）

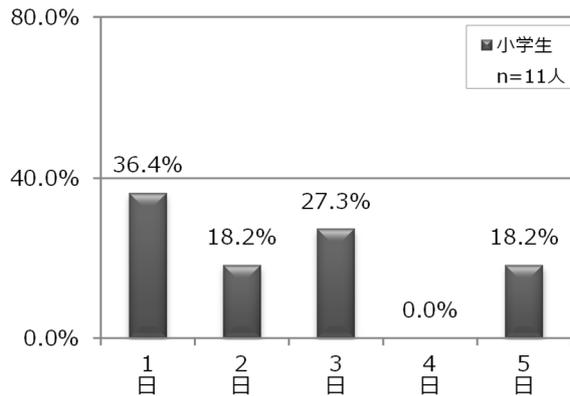


問 20.6 放課後子ども教室の希望日数（1か月当たり）

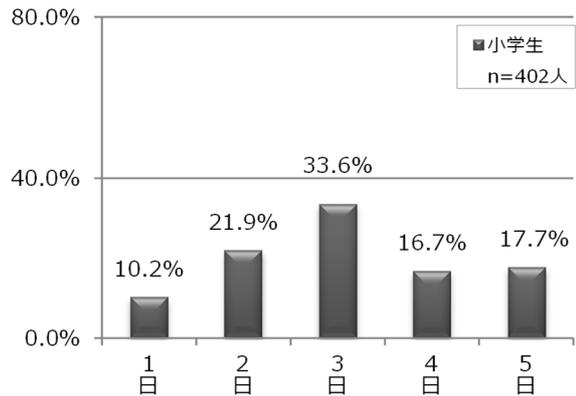


第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

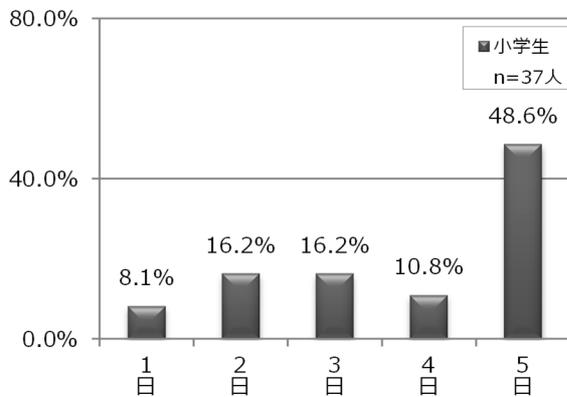
問 20.7 ファミリー・サポート・センターの希望日数（1週当たり）



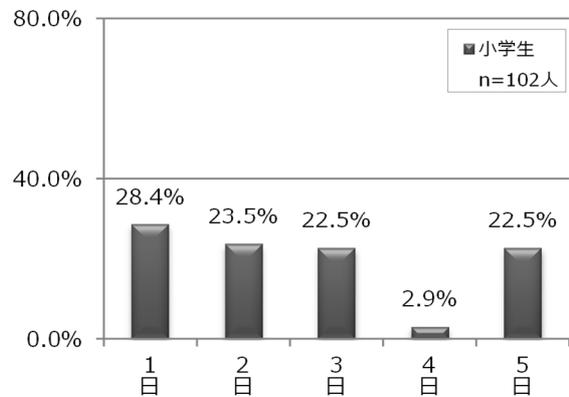
問 20.8 部活動・スポーツ少年団の希望日数（1週当たり）



問 20.9 保育施設等の希望日数（1週当たり）



問 20.10 その他の希望日数（1週当たり）

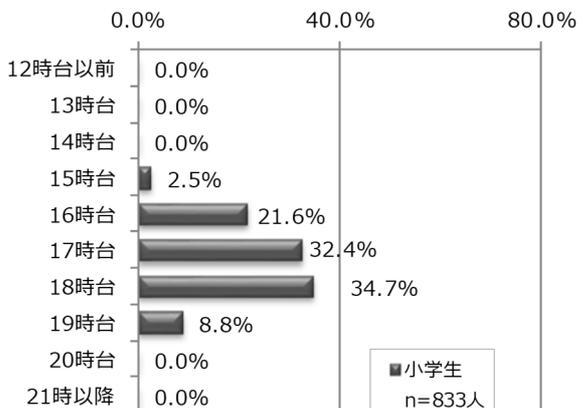


小学生の放課後児童クラブの利用時間をみると、現在は「18 時台」（34.7%）が最も多く、次いで「17 時台」（32.4%）、「16 時台」（21.6%）となっており、高学年期については「18 時台」（37.1%）が最も多く、次いで「17 時台」（32.5%）、「16 時台」（16.1%）と、ほぼ同じ傾向ですが、「19 時台」（13.0%）は現在に比べて 4.2 ポイント増加しています。

「放課後児童クラブ」を選んだ場合の具体的な利用希望時間

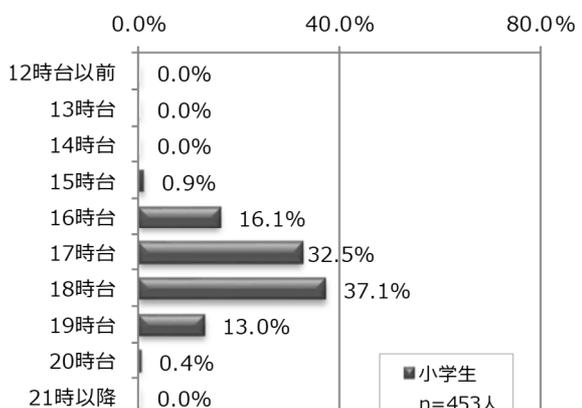
【現在】

問 19.5.1 下校時からの利用時間



【小学校高学年の時期】

問 20.5.1 下校時からの利用希望時間



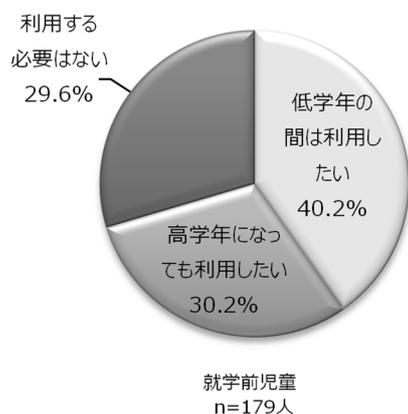
(2) 1. 就学前児童の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について

就学前児童の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「低学年の間は利用したい」(40.2%) が最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」(30.2%)、「利用する必要はない」(29.6%) となっています。一方、日曜・祝日では、「高学年になっても利用したい」(10.1%)、「低学年の間は利用したい」(8.4%) は約 1 割にとどまり、「利用する必要はない」が 81.6% を占めています。

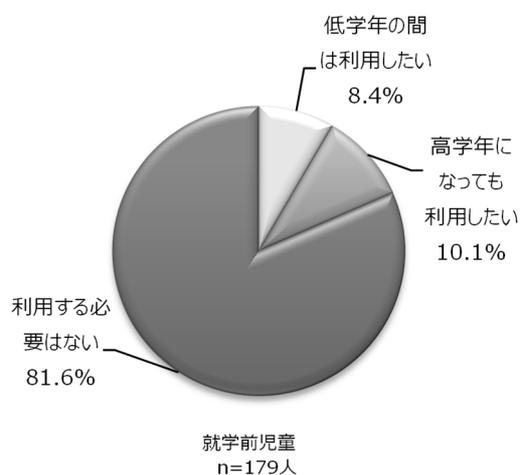
希望利用開始時間では、土曜日は「8 時台」(51.6%) が最も多く、次いで「9 時台」(25.4%)、「7 時台」(21.4%) となっています。希望利用終了時間は、「17 時台」(30.2%)、「18 時台」(28.6%) が多くなっています。

日曜・祝日では、土曜日に比べて「7 時台」(30.3%) が多くなっています。希望利用終了時間は、土曜日に比べて「19 時台」(18.2%) の希望が多くなっています。

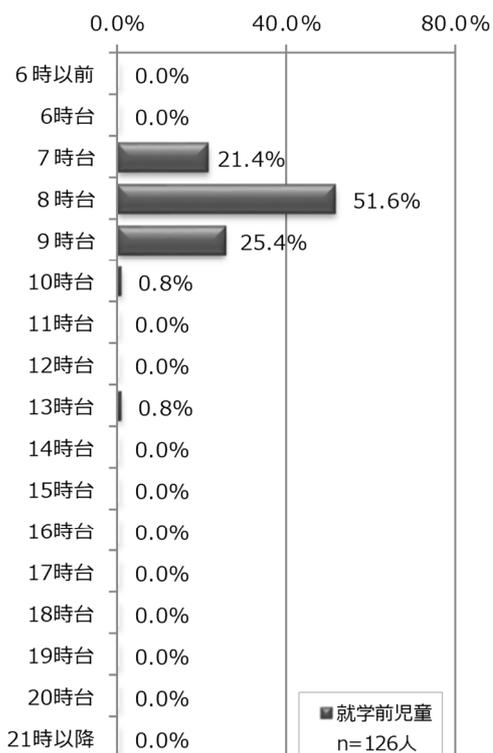
問 31 (1) 土曜日の利用希望



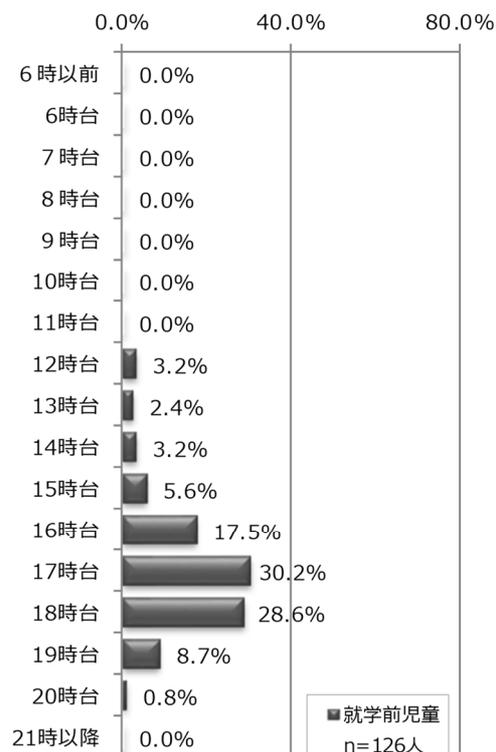
問 31 (2) 日曜・祝日の利用希望



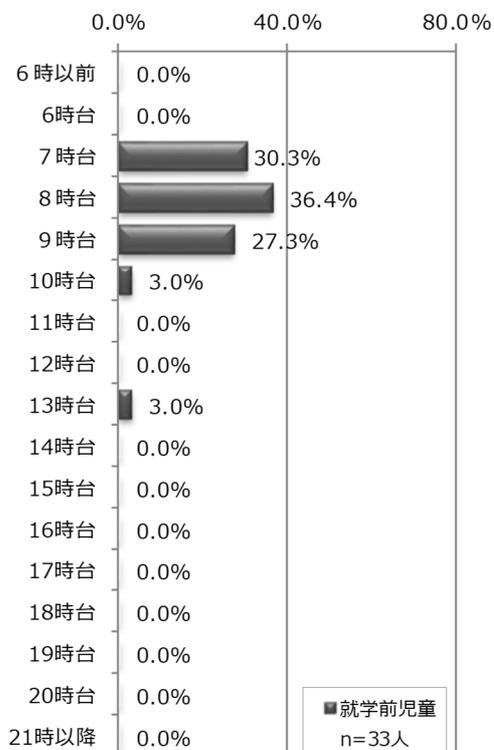
問 31 (1) . 1 土曜日の希望利用開始時間



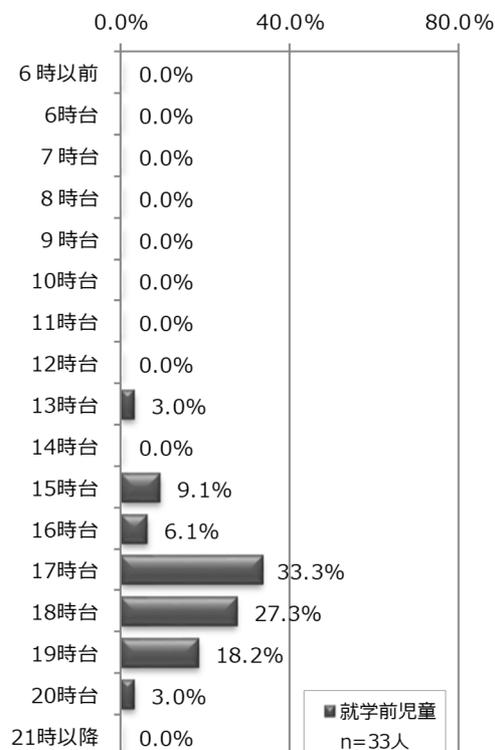
問 31 (1) . 2 土曜日の希望利用終了時間



問 31 (2) . 1 日曜・祝日の希望利用開始時間



問 31 (2) . 2 日曜・祝日の希望利用終了時間



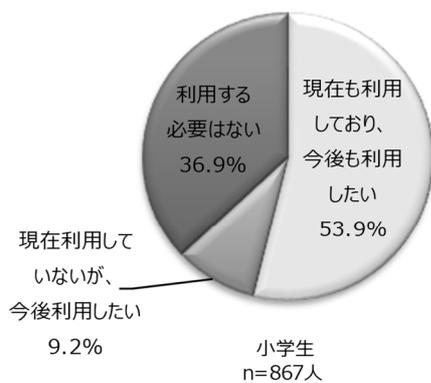
2. 小学生の土曜・休日の放課後児童クラブ利用希望について

小学生の放課後児童クラブの利用希望をみると、土曜日は「現在も利用しており、今後も利用したい」(53.9%) が最も多く、次いで「利用する必要はない」(36.9%)、「現在利用していないが、今後利用したい」(9.2%) となっています。一方、日曜・祝日では、「実施されれば利用したい」は 25.6%にとどまり、「利用する必要はない」が 74.4%を占めています。

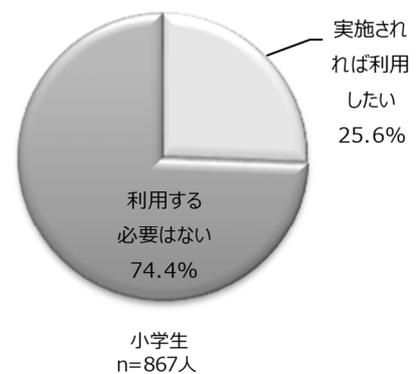
希望利用開始時間では、土曜日は「8時台」(48.6%) が最も多く、次いで「7時台」(26.5%)、「9時台」(21.8%) となっています。希望利用終了時間は、「17時台」(28.2%)、「18時台」(22.7%) が多くなっています。

日曜・祝日では、希望利用終了時間は、土曜日比べて「18時台」(27.5%)、「19時台」(14.4%) の希望が多くなっています。

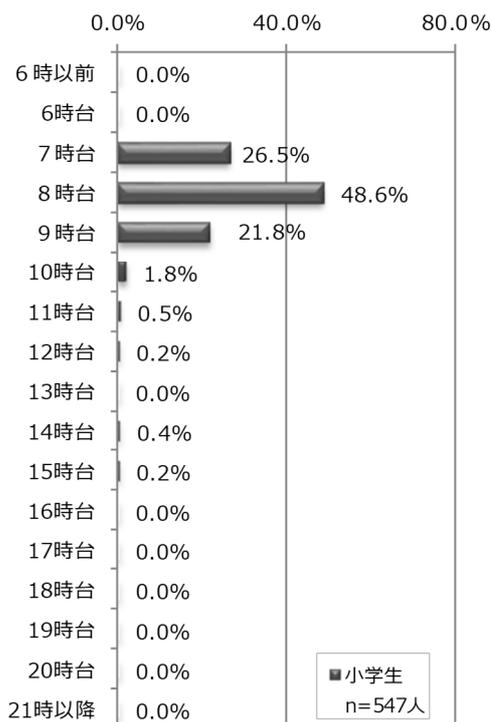
問 21 (1) 土曜日の利用状況・利用希望



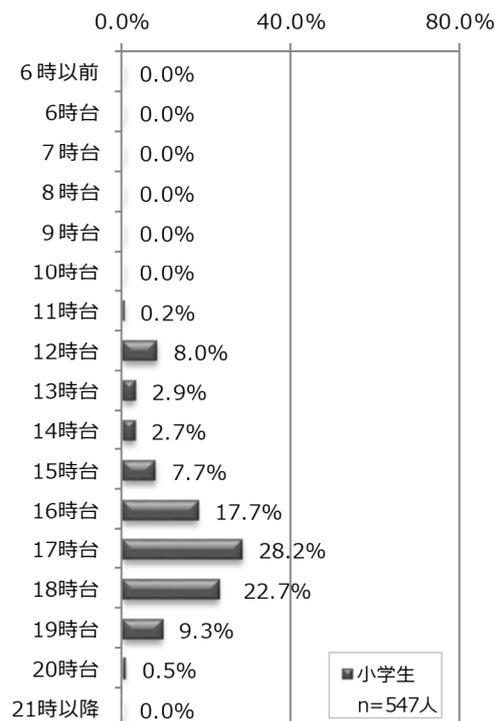
問 21 (2) 日曜・祝日の利用状況・利用希望



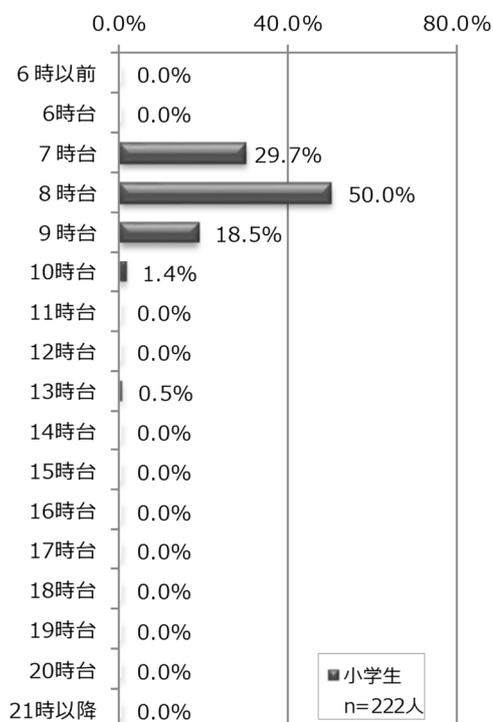
問 21 (1) .1 土曜日の希望利用開始時間



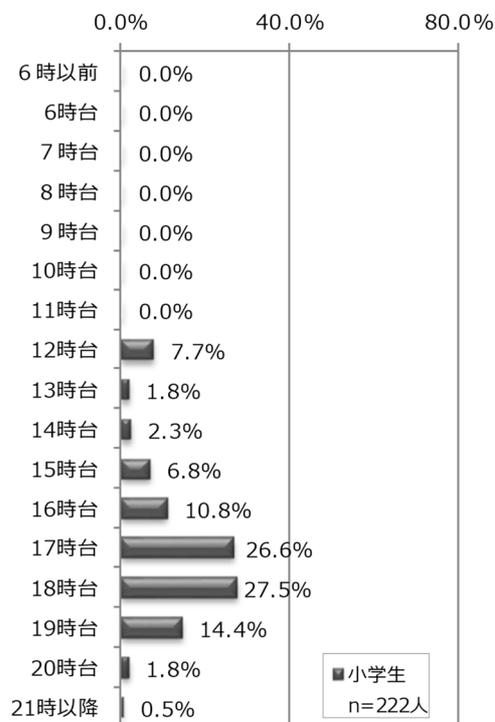
問 21 (1) .2 土曜日の希望利用終了時間



問 21 (2) .1 日曜・祝日の希望利用開始時間



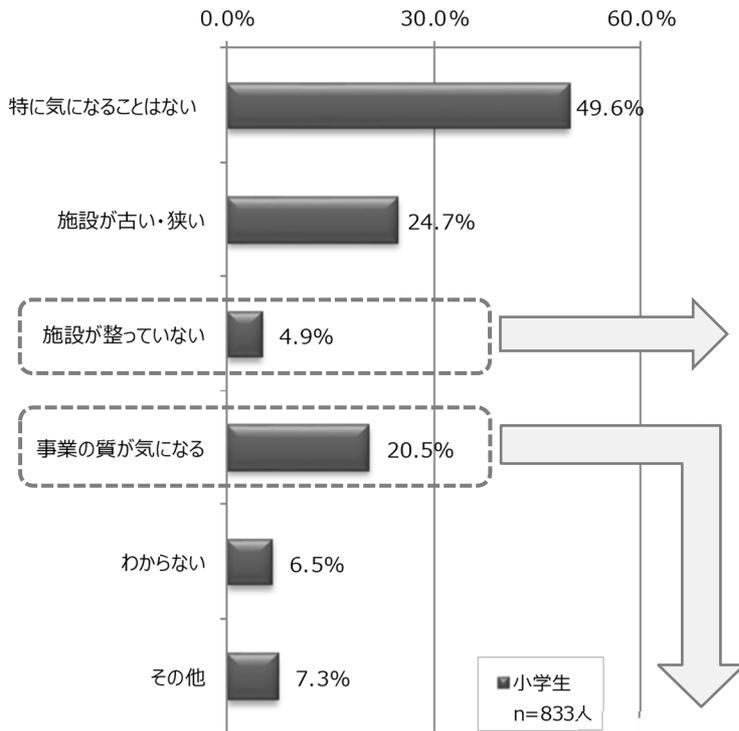
問 21 (2) .2 日曜・祝日の希望利用終了時間



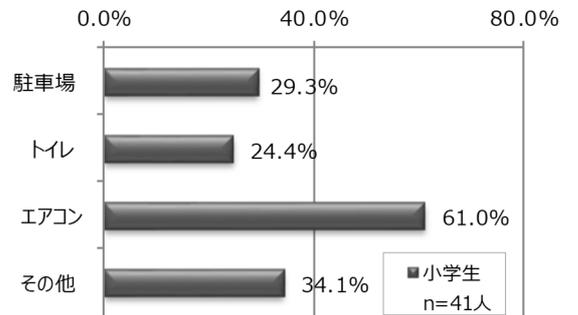
小学生の放課後児童クラブのサービスについての満足度をみると、「特に気になることはない」(49.6%)が約半数となっている一方、「施設が古い・狭い」(24.7%)、「事業の質が気になる」(20.5%)などが2割以上となっています。

「施設が整っていない」の具体的な内容を見ると、「エアコン」(61.0%)が最も多く、次いで「駐車場」(29.3%)、「トイレ」(24.4%)の順となっています。また、「事業の質が気になる」の具体的な内容を見ると、「職員の対応」(75.4%)が最も多く、次いで「1日のカリキュラム」(41.5%)、「行事の内容」(29.8%)の順となっています。

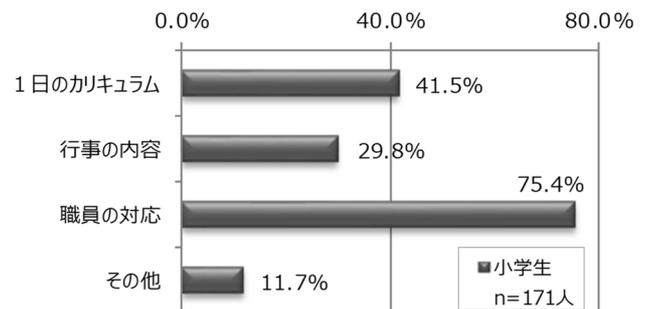
問 22 放課後児童クラブのサービスについての満足度



問 22 施設が整っていない内容



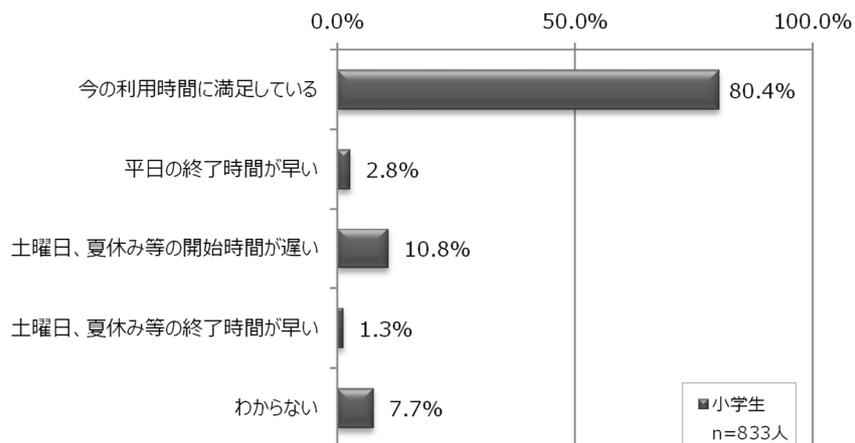
問 22 事業の質が気になる内容



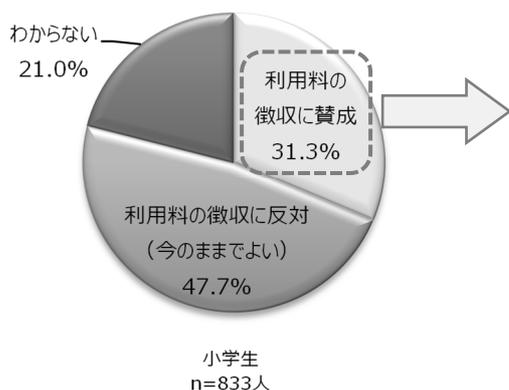
小学生の放課後児童クラブの利用時間についての満足度をみると、80.4%の人が「今の利用時間に満足している」と回答し、「土曜日、夏休み等の開始時間が遅い」（10.8%）、「平日の終了時間が早い」（2.8%）、「土曜日、夏休み等の終了時間が早い」（1.3%）は約1割にとどまっています。

放課後児童クラブ利用料徴収については、「利用料の徴収に賛成（今のままでよい）」（47.7%）が、「利用料の徴収に賛成」（31.3%）を上回っています。また、「利用料の徴収に賛成」と回答した人が妥当と考える月額利用料は「3,000円」（36.4%）が最も多くなっています。

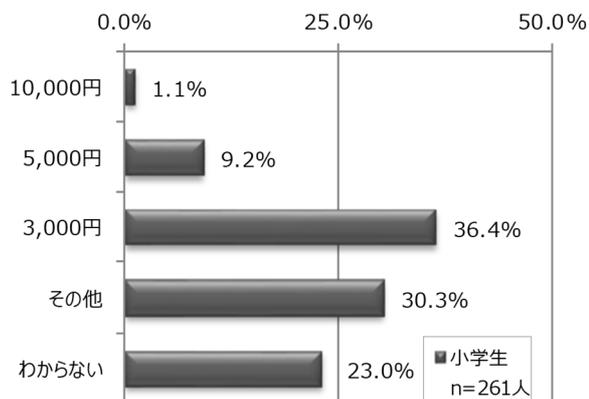
問 22-1 放課後児童クラブの利用時間についての満足度



問 22-2 放課後児童クラブの利用料徴収について



問 22-3 放課後児童クラブの妥当な月額利用料

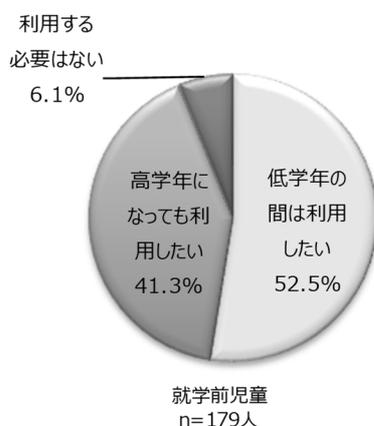


(3) 1. 就学時前児童の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について

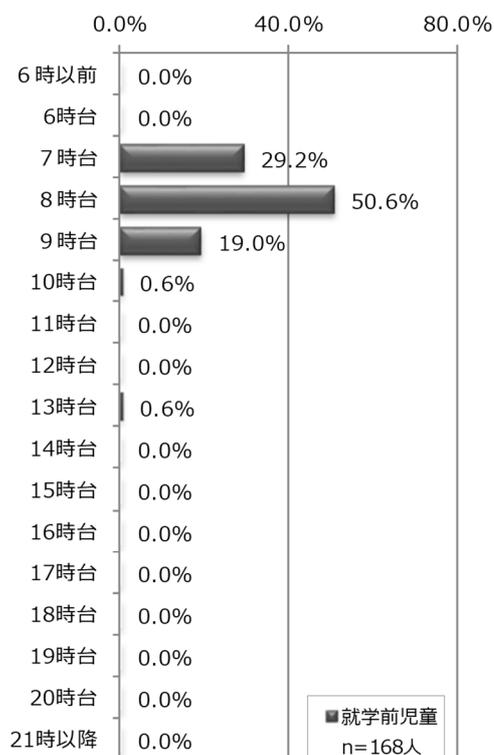
就学前児童の長期休暇期間中の利用希望をみると、「低学年の間は利用したい」(52.5%)が最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」(41.3%)、「利用する必要はない」(6.1%)となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」(50.6%)が最も多く、次いで「7時台」(29.2%)、「9時台」(19.0%)となっています。希望利用終了時間は、「18時台」(40.5%)が最も多く、次いで「17時台」(29.8%)となっています。

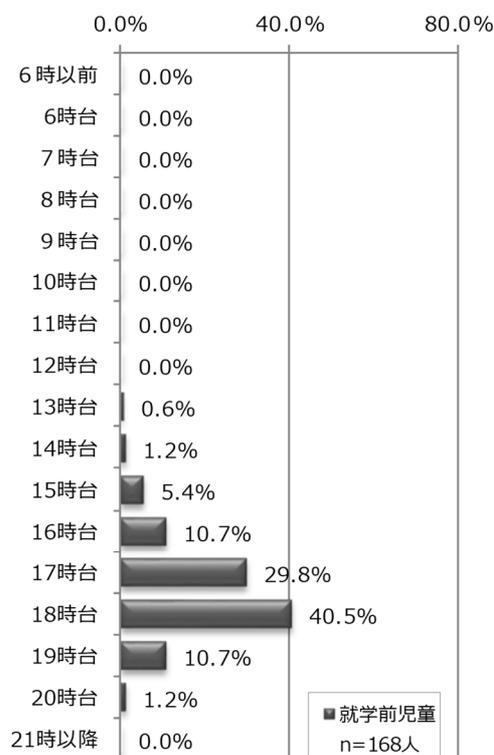
問 32 長期休暇期間中の利用希望



問 32.1 長期休暇期間中の希望利用開始時間



問 32.2 長期休暇期間中の希望利用終了時間

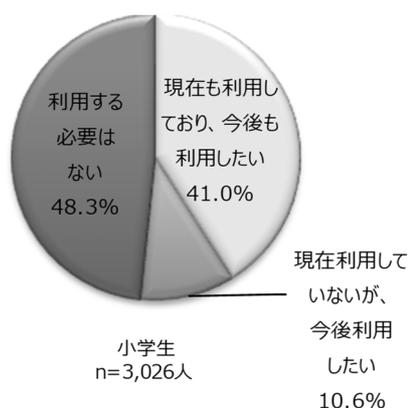


2. 小学生の長期休暇期間中の放課後児童クラブ利用希望について

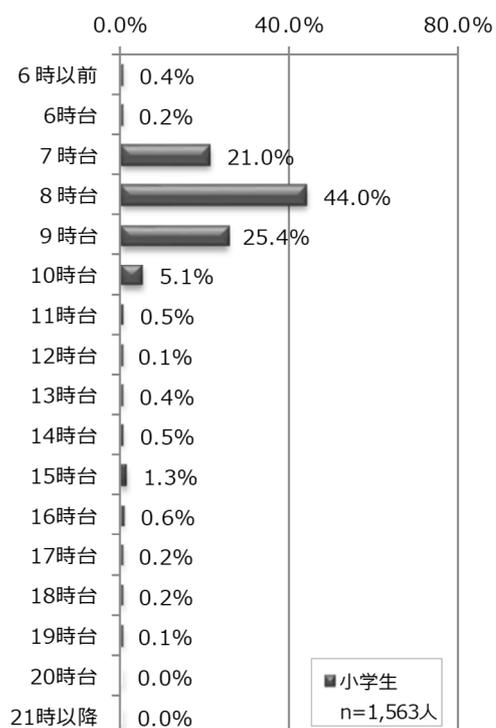
小学生の長期休暇期間中の利用希望をみると、「利用する必要はない」（48.3%）が最も多く、次いで「現在も利用しており、今後も利用したい」（41.0%）、「現在利用していないが、今後利用したい」（10.6%）となっています。

希望利用開始時間は、「8時台」（44.0%）が最も多く、次いで「9時台」（25.4%）、「7時台」（21.0%）となっています。希望利用終了時間は、「17時台」（30.4%）、「18時台」（29.8%）が多くなっています。

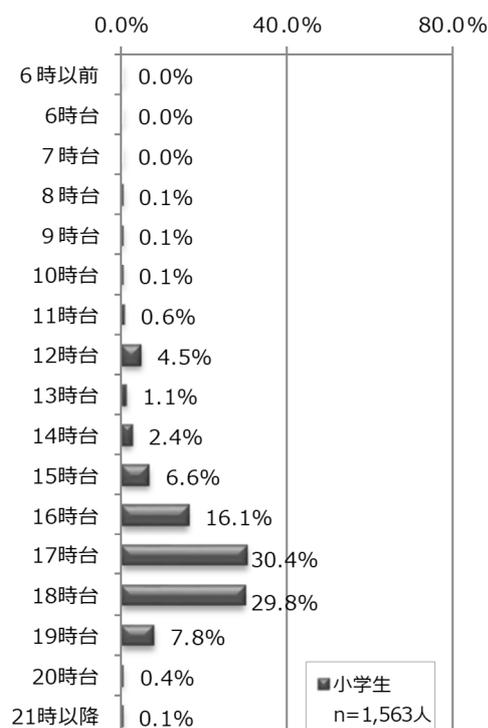
問 23 長期休暇期間中の利用希望



問 23.1 長期休暇期間中の希望利用開始時間



問 23.2 長期休暇期間中の希望利用終了時間



4 子育て支援事業の周知・利用状況と今後の利用意向について

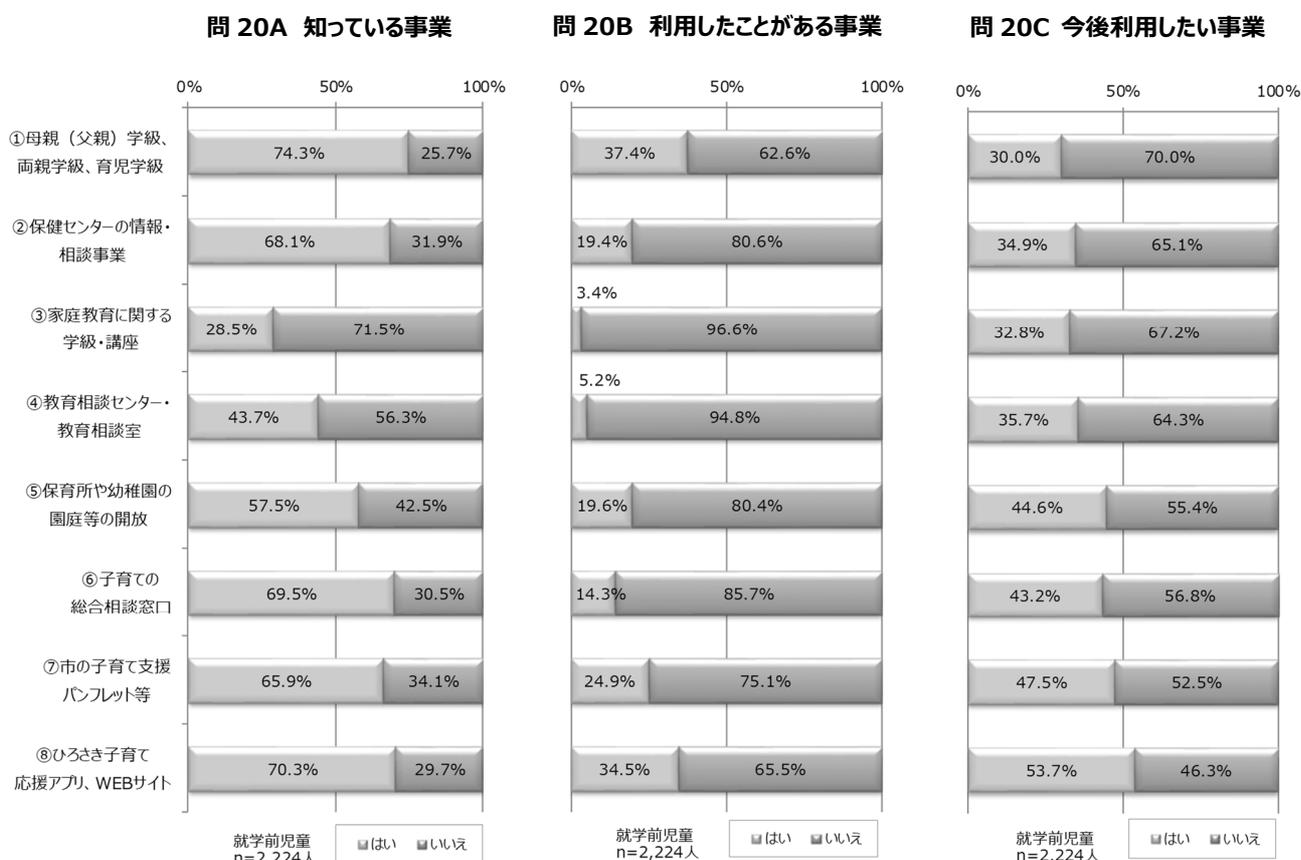
就学前児童の保護者が知っている子育て支援事業で認知度が高いのは、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』（74.3%）と『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（70.3%）で7割以上となっています。次いで『⑥子育ての総合相談窓口』（69.5%）、『②保健センターの情報・相談事業』（68.1%）、『⑦市の子育て支援パンフレット等』（65.9%）が6割台となっています。一方、『③家庭教育に関する学級・講座』（28.5%）と『④教育相談センター・教育相談室』（43.7%）は半数以下となっており、特に『③家庭教育に関する学級・講座』は3割未満にとどまっています。

利用したことがある事業は、いずれの項目も4割未満にとどまっていますが、認知度で高い『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』（37.4%）と『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（34.5%）が3割台と他の項目に比べてやや多くなっています。

今後利用したい事業は、『⑧ひろさき子育て応援アプリ、WEB サイト』（53.7%）が最も多く、次いで『⑦市の子育て支援パンフレット等』（47.5%）、『⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放』（44.6%）、『⑥子育ての総合相談窓口』（43.2%）の順となっています。

『③家庭教育に関する学級・講座』と『④教育相談センター・教育相談室』は、利用経験が1割未満にとどまっていますが、今後の利用意向では3割以上となっています。

また、『①母親（父親）学級、両親学級、育児学級』と『②保健センターの情報・相談事業』は、認知度が高いものの今後の利用意向との差が他の項目に比べて少なくなっています。



5 地域における子育て環境や支援について（新規）

（1） 1. 就学前児童の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感（新規）

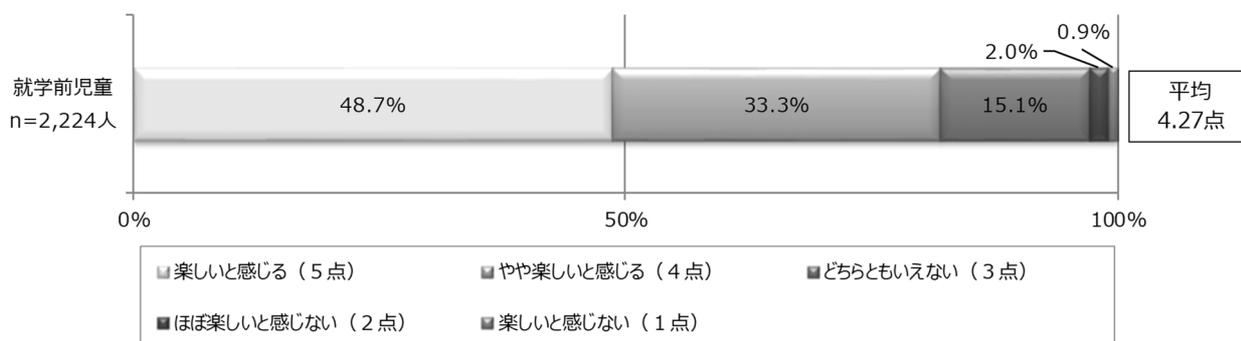
就学前児童の保護者が子育てを楽しんでいるかどうかをみると、「楽しいと感じる」（48.7%）が最も多く、「やや楽しいと感じる」（33.3%）を合わせた楽しいと感じている人は 82.0%となっています。一方、「ほぼ楽しいと感じない」（2.0%）と「楽しいと感じない」（0.9%）を合わせた楽しいと感じない人は 2.9%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて（「楽しいと感じる」5点、「やや楽しいと感じる」4点、「どちらともいえない」3点、「ほぼ楽しいと感じない」2点、「楽しいと感じない」1点）集計したところ、平均点は 4.27 点となっています。

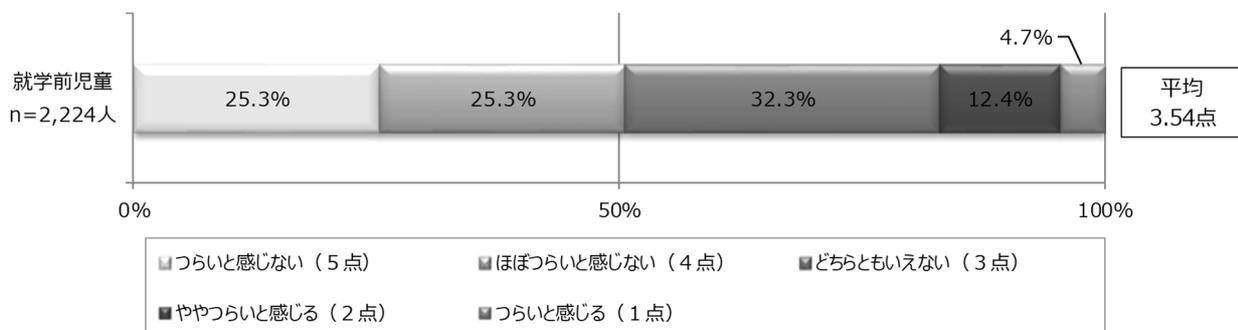
子育てをつらいと感じるかどうかをみると、「つらいと感じない」、「ほぼつらいと感じない」（各 25.3%）を合わせたつらいと感じない人は 50.6%となっています。一方、「ややつらいと感じる」（12.4%）、「つらいと感じる」（4.7%）を合わせたつらいと感じる人は 17.1%となっています。

また、子育てを楽しんでいるかどうかとの設問と同様に、回答に5点から1点までの点数を付けて（「つらいと感じない」5点、「ほぼつらいと感じない」4点、「どちらともいえない」3点、「ややつらいと感じる」2点、「つらいと感じる」1点）集計したところ、平均点は 3.54 点となっています。

問 33.1 子育てを楽しんでいるか

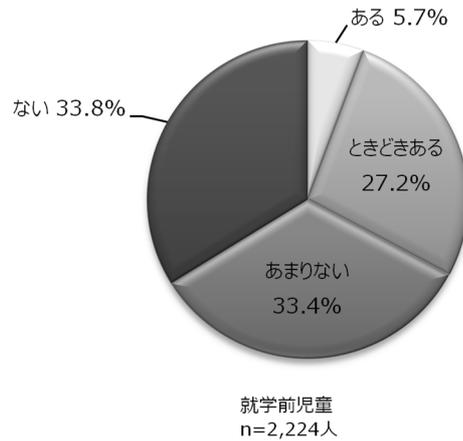


問 33.2 子育てをつらいと感じるか



就学前児童の保護者が子育てに関して孤立感を感じるかどうかをみると、「ない」（33.8%）が最も多く、「あまりない」（33.4%）を合わせた孤立感を感じたことがない人は 67.2%となっています。一方、「ある」（5.7%）、「ときどきある」（27.2%）を合わせた孤立感を感じたことがある人は 32.9%となっています。

問 34 子育てに関して孤立感を感じるか



2. 小学生の保護者が感じる子育ての楽しさ・つらさ・孤立感（新規）

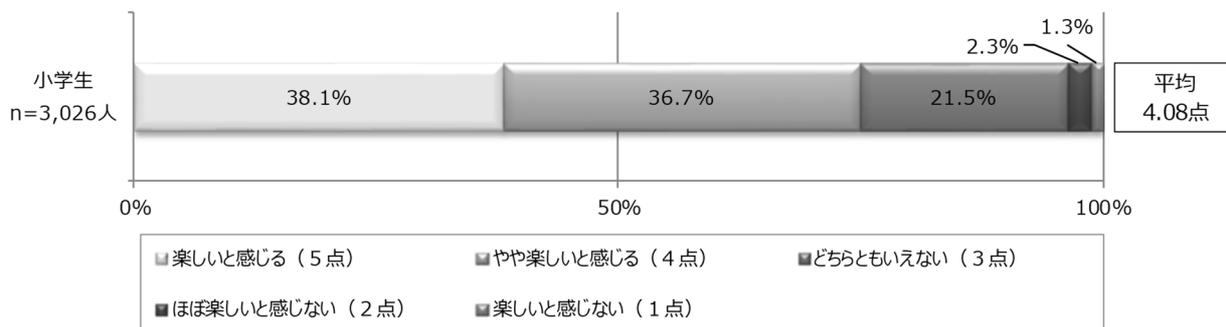
小学生の保護者が子育てを楽しんでいるかどうかをみると、「楽しいと感じる」（38.1%）が最も多く、「やや楽しいと感じる」（36.7%）を合わせた楽しいと感じている人は74.8%となっています。一方、「ほぼ楽しいと感じない」（2.3%）と「楽しいと感じない」（1.3%）を合わせた楽しいと感じない人は3.6%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて（「楽しいと感じる」5点、「やや楽しいと感じる」4点、「どちらともいえない」3点、「ほぼ楽しいと感じない」2点、「楽しいと感じない」1点）集計したところ、平均点は4.08点となっています。就学前児童の保護者と比べ、子育てを楽しんでいる人の割合が減少しているため、平均点もやや低くなっています。

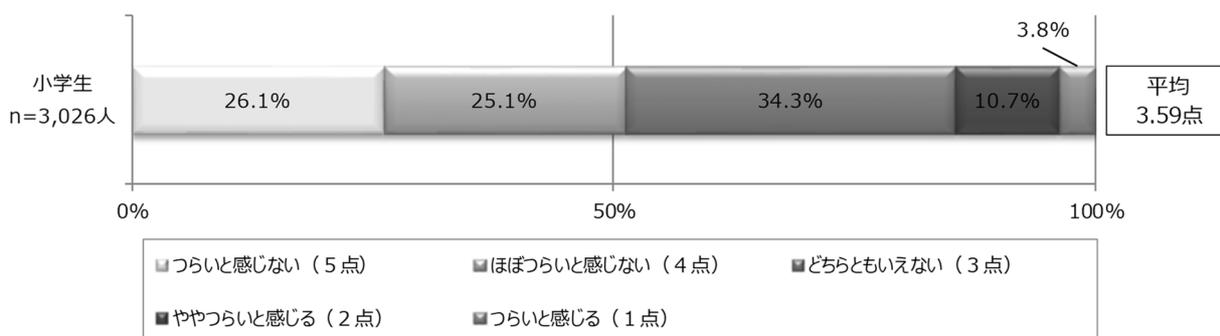
子育てをつらいと感じるかどうかをみると、「つらいと感じない」（26.1%）と「ほぼつらいと感じない」（25.1%）を合わせたつらいと感じない人は51.2%となっています。一方、「ややつらいと感じる」（10.7%）、「つらいと感じる」（3.8%）を合わせたつらいと感じる人は14.5%となっています。

また、子育てを楽しんでいるかどうかの問いと同様に、回答に5点から1点までの点数を付けて（「つらいと感じない」5点、「ほぼつらいと感じない」4点、「どちらともいえない」3点、「ややつらいと感じる」2点、「つらいと感じる」1点）集計したところ、平均点は3.59点となっています。

問 24.1 子育てを楽しんでいるか

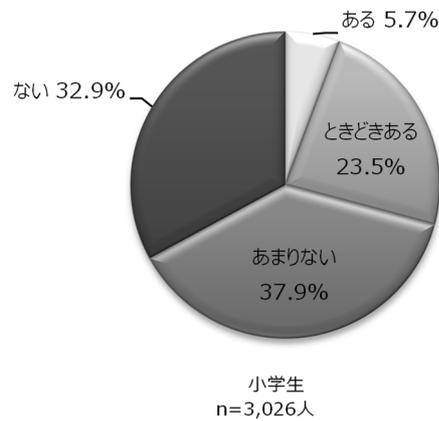


問 24.2 子育てをつらいと感じるか



小学生の保護者が子育てに関して孤立感を感じるかどうかをみると、「あまりない」（37.9%）が最も多く、「ない」（32.9%）を合わせた孤立感を感じたことがない人は 70.8%となっています。一方、「ある」（5.7%）、「ときどきある」（23.5%）を合わせた孤立感を感じたことがある人は 29.2%となっており、就学前児童の保護者に比べてやや少なくなっています。

問 25 子育てに関して孤立感を感じるか

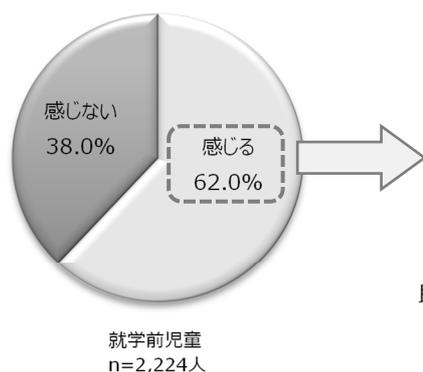


(2) 1. 就学前児童の保護者に対する子育て支援（新規）

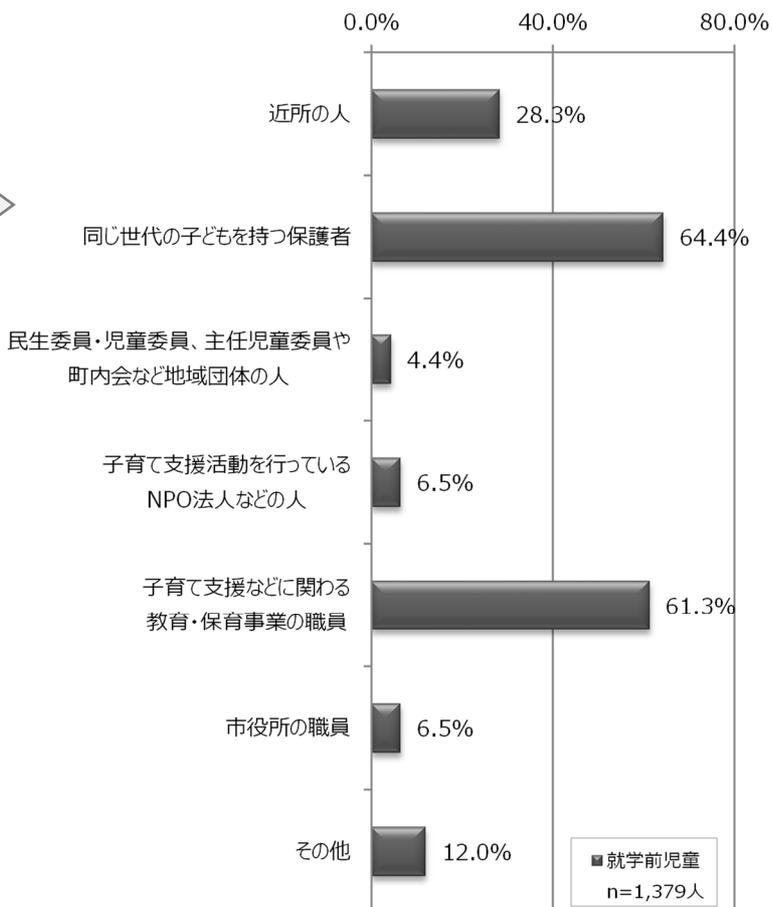
就学前児童の保護者が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかどうかをみると、「感じる」が62.0%、「感じない」が38.0%となっています。

地域の人や社会に支えられていると感じている人が、誰に支えられていると感じているかをみると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」(64.4%)が最も多く、次いで「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」(61.3%)、「近所の人」(28.3%)の順となっています。

問 35.1 地域の人や社会に支えられていると感じるか



問 35.2 誰に支えられていると感じるか

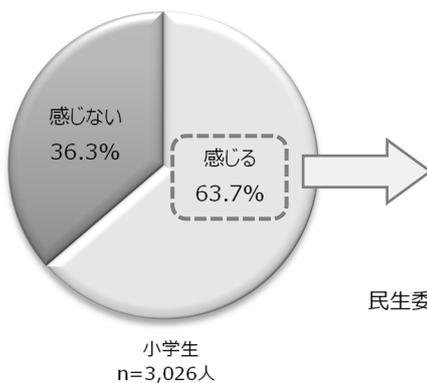


2. 小学生の保護者に対する子育て支援（新規）

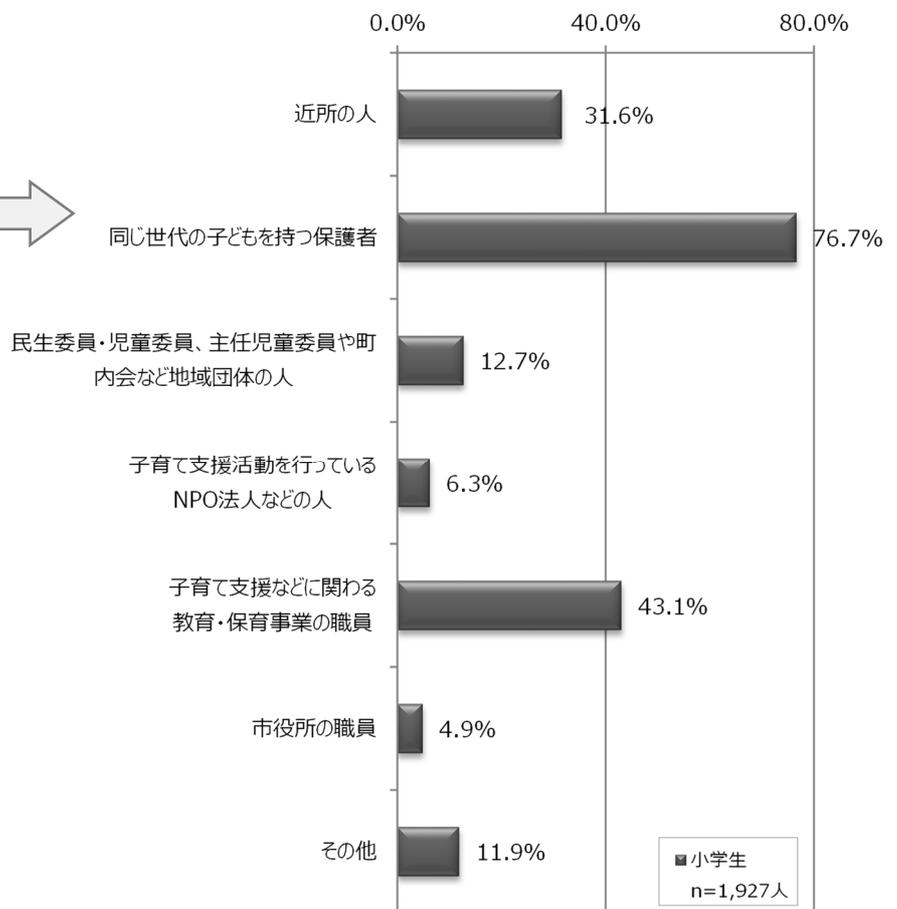
小学生の保護者が、自身の子育てが地域の人や社会に支えられていると感じるかどうかをみると、「感じる」が63.7%、「感じない」が36.3%と、就学前児童の保護者と同様の傾向となっています。

地域の人や社会に支えられていると感じている人が、誰に支えられていると感じているかをみると、「同じ世代の子どもを持つ保護者」（76.7%）が最も多く、次いで「子育て支援などに関わる教育・保育事業の職員」（43.1%）、「近所の人」（31.6%）の順となっており、就学前児童の保護者と同じ項目が上位にあげられていますが、小学生の保護者は就学前児童の保護者に比べて「同じ世代の子どもを持つ保護者」が12.3ポイント上回っています。

問 26.1 地域の人や社会に支えられていると感じるか



問 26.2 誰に支えられていると感じるか

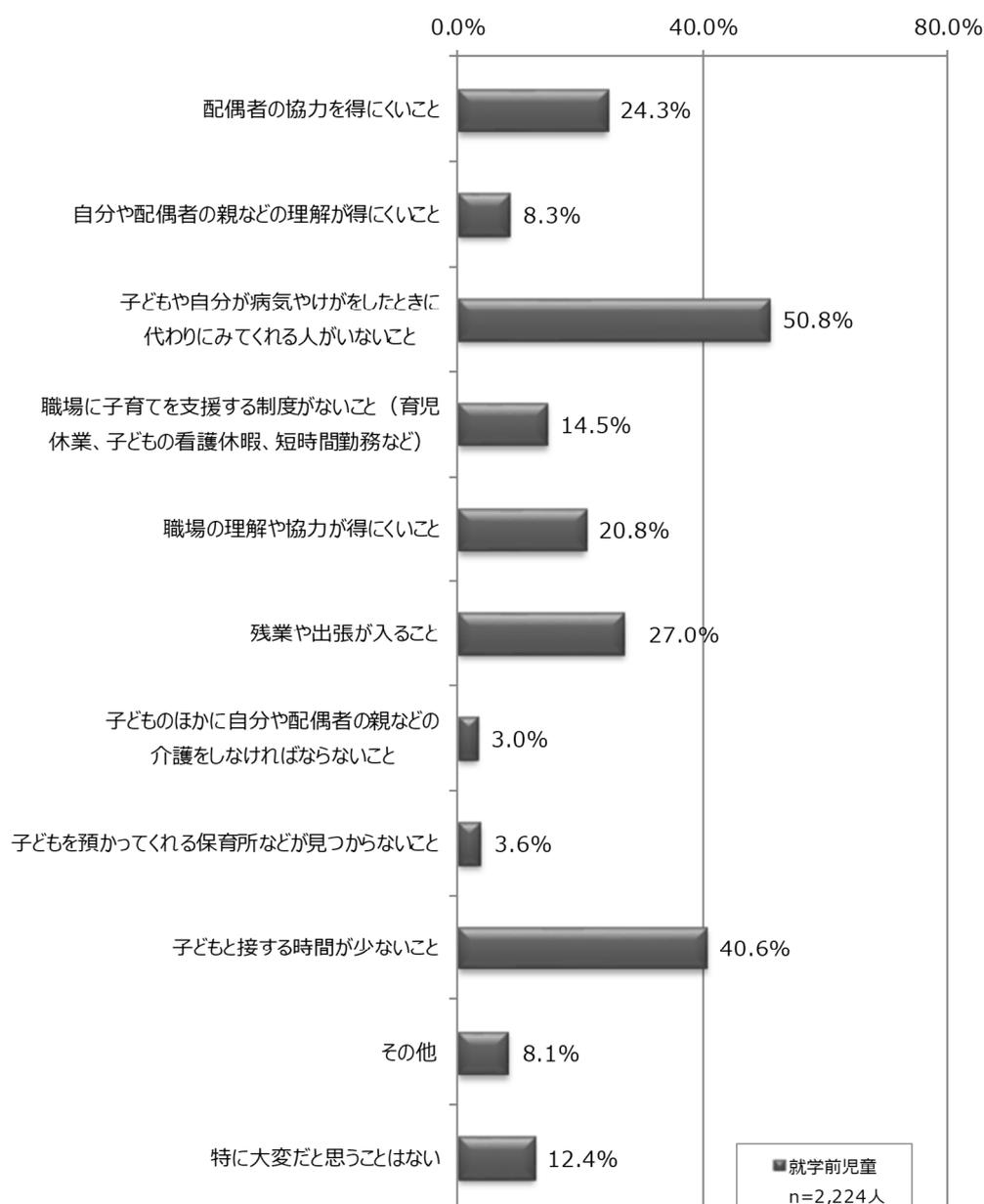


(3) 1. 就学前児童の保護者の仕事と子育ての両立について（新規）

就学前児童の保護者が、仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことをみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと」（50.8%）が最も多くなっています。次いで「子どもと接する時間が少ないこと」（40.6%）、「残業や出張が入ること」（27.0%）、「配偶者の協力を得にくいこと」（24.3%）、「職場の理解や協力が得にくいこと」（20.8%）の順となっています。

なお、「特に大変だと思うことはない」は12.4%となっています。

問 36 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うこと

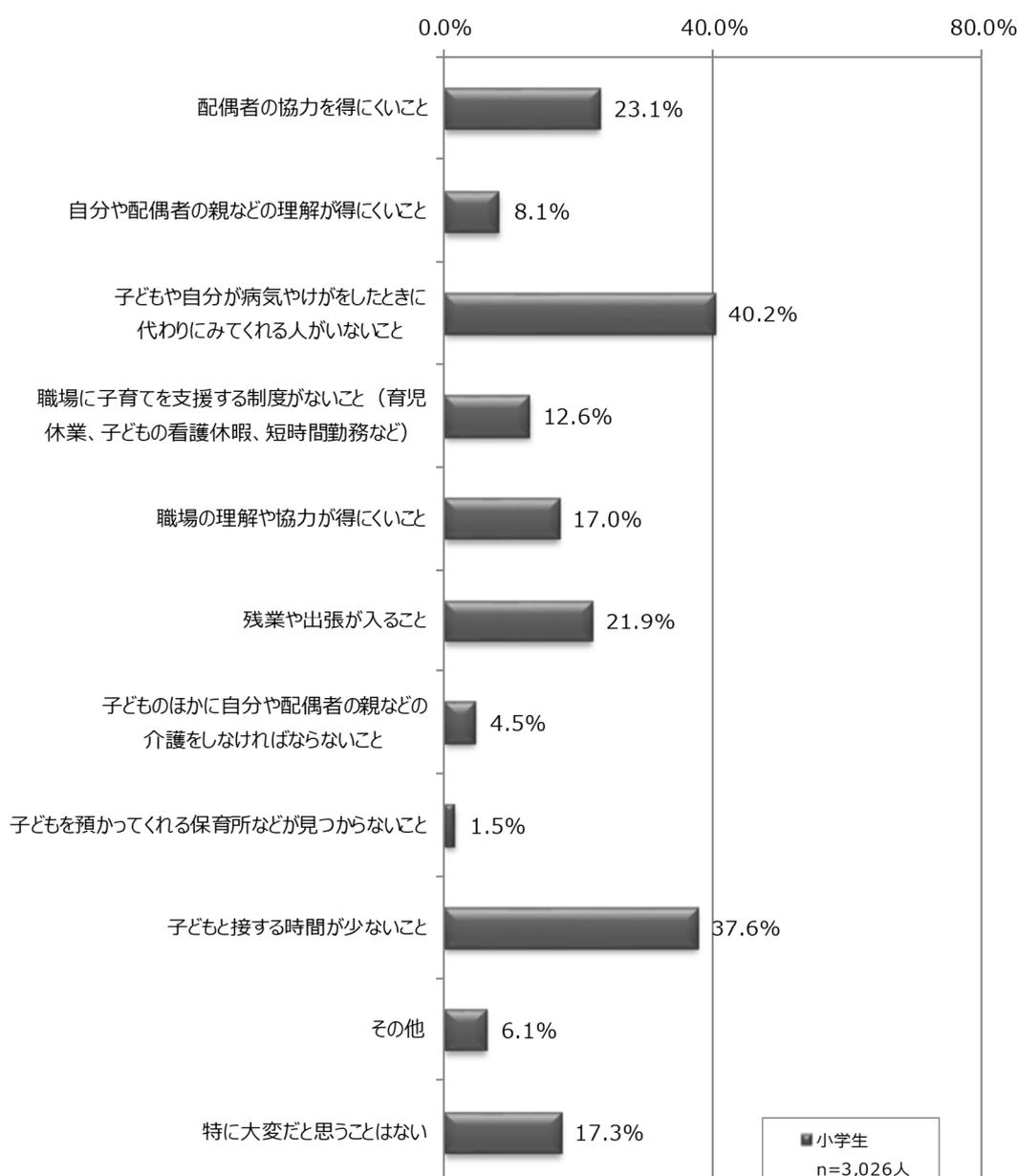


2. 小学生の保護者の仕事と子育ての両立について（新規）

小学生の保護者が、仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うことをみると、「子どもや自分が病気やけがをしたときに代わりにみてくれる人がいないこと」（40.2%）が最も多く、就学前児童の保護者に比べて10.6ポイント下回っています。次いで「子どもと接する時間が少ないこと」（37.6%）、「配偶者の協力を得にくいこと」（23.1%）、「残業や出張が入ること」（21.9%）、「職場の理解や協力が得にくいこと」（17.0%）の順となっています。

なお、「特に大変だと思うことはない」は17.3%と就学前児童の保護者に比べて4.9ポイント上回っています。

問 27 仕事と子育てを両立させるうえで大変だと思うこと

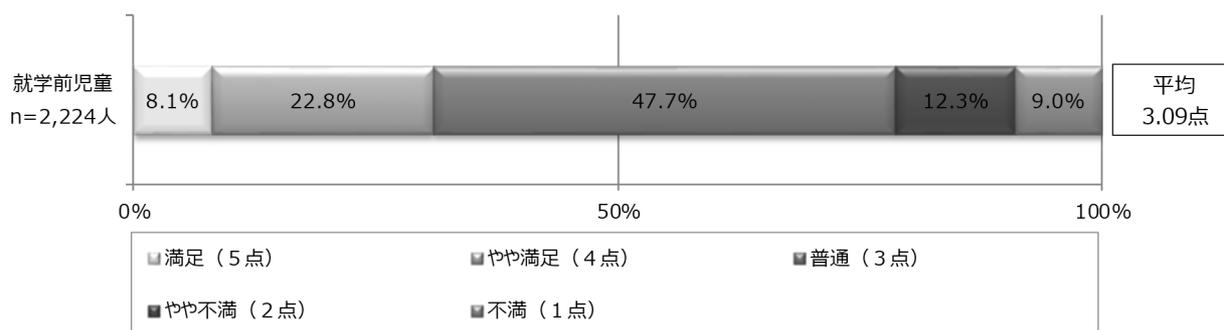


(4) 1. 就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度

就学前児童の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度をみると、「普通」(47.7%)が最も多くなっています。「満足」(8.1%)と「やや満足」(22.8%)を合わせた満足している人は30.9%、「やや不満」(12.3%)、「不満」(9.0%)を合わせた満足していない人は21.3%となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて(「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点)集計したところ、平均点は3.09点となっています。

問 37 地域の子育て環境や支援に対する満足度 (就学前児童)



2. 小学生の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度

小学生の保護者の地域の子育て環境や支援に対する満足度をみると、「普通」(49.3%)が最も多くなっています。「満足」(7.0%)と「やや満足」(21.8%)を合わせた満足している人は28.8%、「やや不満」(13.5%)と「不満」(8.4%)を合わせた満足していない人は21.9%と、就学前児童の保護者と同様の傾向となっています。

また、回答に5点から1点までの点数を付けて(「満足」5点、「やや満足」4点、「普通」3点、「やや不満」2点、「不満」1点)集計したところ、平均点は3.06点となっています。

問 28 地域の子育て環境や支援に対する満足度 (小学生)

